

平成24年度

福岡アジア美術館年報

Fukuoka Asian Art Museum Annual Report 2012

平成24年度

福岡アジア美術館年報

Fukuoka Asian Art Museum Annual Report 2012

目次

■ 展示事業	
1 特別企画展	4
2 小企画展	9
3 コレクション展	10
■ 交流事業	
1 招聘事業	12
2 受入支援事業	17
3 地域交流事業	17
■ 教育普及事業	
1 体験学習、博物館実習等	18
2 とびだせ！アジア美術館事業	18
■ ミュージアム施策事業	19
■ ボランティア活動	20
■ 広報活動	23
■ 所蔵作品	
1 新所蔵作品	26
2 貸出一覧	28
3 修復一覧	30
4 画像掲載一覧	31
■ 入館者数	33
■ 活動記録	36
■ 概要	
1 基本理念	38
2 活動内容	39
3 施設概要	40
4 沿革	44
■ 名簿	45



展示事業

- 関連事業
- ビスケットランド:親子プログラミング教室
「宇宙アニメをつくろう！」
協力:NTTコミュニケーション科学基礎研究所
日時:7月31日(火)、8月1日(水)、8月2日(木)
11:00~12:00
場所:彫刻ラウンジ
 - サイエンス・ワークショップ
講師:ハルトムート・ヴェーデキント
日時:8月5日(日)10:30~11:30
場所:彫刻ラウンジ
 - 講演会
「子どもとミュージアムとまちづくり」
講師:ハルトムート・ヴェーデキント(フンボルト
大学教授)&ハイデローゼ・ブルックナー
(ドイツ児童基金連邦マネージャー)
日時:8月5日(日)13:30~15:30
場所:あじびホール
 - たかし先生のおはなし会
「恐竜のたまごにさわってみよう」
講師:たかしよいち(児童文学作家、信愛女学院短
期大学名誉教授)
日時:8月5日(日)、8月11日(土)、8月19日(日)
13:00~15:30
場所:彫刻ラウンジ
 - 絵本作家 宮西達也講演会
講師:宮西達也(絵本作家)
日時:8月12日(日)10:30~12:00
場所:あじびホール
 - もくねんさん
(おがくすでできた粘土で工作教室)
(ジュースで糖度実験)
提供:エフコープ生協
日時:8月16日(木)、17日(金)、18日(土)
10:00~17:00
場所:彫刻ラウンジ
 - ワークショップ
「モンスターパッチをつくろう！」
講師:角孝政(造形作家)
日時:7月30日(月)、8月6日(月)11:00~16:00
場所:彫刻ラウンジ
 - ワークショップ
「絵本ワークショップ」
講師:子ども文化コミュニティ
日時:7月30日(月)、8月4日(土)、6日(月)、
7日(火)、8日(水)、9日(木)、12日(日)、
13日(月)、14日(火)、15日(水)、20日(月)、
21日(火)
11:00~12:00、13:30~14:30、
15:00~16:00
場所:彫刻ラウンジ
 - ワークショップ
「絵本であそぼう！」
日時:8月3日(金)、10日(金)

- ワークショップ
「クレヨンづくりワークショップ」
講師:加藤隆之(福岡教育大学 美術教育講座)
日時:8月9日(木)11:00~12:30
場所:彫刻ラウンジ
- 絵本のよみきかせ
協力:TNCアナウンサー(新垣泉子、四位知加子、
津野瀬果絵、大谷真宏、田久保尚英、
松尾幸一郎)
日時:7月26日(木)~8月21日(火)
13:00~、15:00~
場所:ラウンジM8、彫刻ラウンジ
- NTTグループブース
日時:7月25日(水)~8月21日(火)
場所:彫刻ラウンジ
- ダンス・ワークショップ
「うごきだす絵本」
講師:神崎由布子(舞踏家、振付家、演出家)
日時:8月8日(水)~8月12日(日)13:00~16:00
場所:あじびホール

関連記事

- 2012. 6.28 西日本新聞(朝)「物語の世界に遊ぼう NTT西日本
スペシャル おいでよ! 絵本ミュージアム2012」
- 2012. 7.14 西日本新聞(夕)「夢が広がる物語の世界 おいでよ!
絵本ミュージアム」
- 2012. 8. 2 西日本新聞(朝)「未来へGO! ④ 子どもに読書の喜
びを紹介」
- 2012. 8. 3 西日本新聞(朝)「物語はタイムマシン! おいでよ!
絵本ミュージアム2012」
- 2012. 8. 9 西日本新聞(朝)「未来へGO! ⑤ 太古の地球にタイ
ムスリップ」
- 2012. 8. 9 西日本新聞(朝)「お話の世界へどうぞ 21日まで絵本
ミュージアム」

アジアをつなぐー境界を生きる女たち 1984-2012



会 期 2012年9月1日(土)～10月21日(日)
 会 場 企画ギャラリー
 主 催 福岡アジア美術館、西日本新聞社、テレビ西日本
 助 成 芸術文化振興基金、ポーラ美術振興財団
 開 催 日 数 44日間
 観 覧 者 数 5,856人
 出 品 点 数 134点

近年、アジアの女性アーティストを取り巻く状況は急激に変化している。また、アジア諸国の経済発展やジェンダーに対する社会意識の高まりなどを背景に、時代のうねりは女性と社会、アジアと世界との関係に、今までにない構造的な変化をもたらしている。こうした状況下で、アジアの女性アーティストたちは何を感じ、どのような立場から、何を表現しようとしているのか。本展の狙いは、その軌跡をアジア美術が国際的な注目を集める前から丹念にたどるとともに、彼女たちの創造的でポジティブな可能性を探ることにある。

そこで、本展ではアジアの女性アーティストによる多岐にわたる作品(45作家/134点)を、以下のテーマに分けて展示、紹介した。

1. 女性の身体 —— 繁殖・増殖、魅惑と暴力の場
2. 女性と社会
 - (1) 女性/男性の役割、女同士の絆
 - (2) ディアスポラ、周縁化された人々
3. 女性と歴史 —— 戦争、暴力、死、記憶
4. 女性の技法、素材 —— 「美術」の周縁
5. 女性の生活 —— ひとりからの出発

また、会期中にはアーティストによるトーク、ワークショップ、パフォーマンス、上映会なども開催したが、この規模で開催されるアジアの女性アーティスト展としては、日本で初めての試みであった。

ポスター B2 カラマリ・インク(デザイン)/秀巧社印刷株式会社
 チラシ A3 カラマリ・インク(デザイン)/秀巧社印刷株式会社
 図 録 A4変形 220頁、和英 カラマリ・インク(デザイン)/西日本新聞印刷

関連事業 □アーティスト・トーク
 話し手:ジョン・ジョンヨブ(韓国)、ユン・ソクナム(韓国)、ハ・チャヨン(韓国)、井上廣子、出光真子、阪田清子

日時:9月1日(土)10:30～12:00
 場所:企画ギャラリー
 観衆:93人

□パフォーマンス
 出演:イトー・タリ
 日時:9月1日(土)14:00～16:30
 場所:あじびホール
 観衆:85人

□映像作品上映会
 内容:7プログラム計14回上映
 日時:10月4日(木)～8日(月)
 場所:あじびホール
 観衆:314人

□アーティスト・トーク
 話し手:アルマ・キント(フィリピン)
 日時:10月14日(日)14:00～15:00
 場所:彫刻ラウンジ
 観衆:52人

□ワークショップとアーティスト・トーク
 「おっぱい塔クッキング」
 講師:ピナリー・サンピタック(タイ)
 日時:10月21日(日)10:00～12:00
 場所:彫刻ラウンジ
 観衆:25人

連携事業ほか □山田うん ソロダンス「ディクテ」
 出演:山田うん
 日時:10月18日(木)18:30～19:40
 場所:彫刻ラウンジ
 主催:Co. 山田うん
 観衆:96人

□公開コロキウム
 「アジアのアートとジェンダー・システム」
 出演:ピナリー・サンピタック(タイ)、山城知佳子ほか
 日時:10月20日(土)13:30～17:30
 場所:あじびホール
 主催:科研共同研究「社会システム<芸術>とその変容」
 観衆:63人

関連記事

2012. 8.21 新美術新聞、黒田雷児「通信アジアへ(37) アジア×女性×アート×希望×テンション」
2012. 9. 2 西日本新聞(朝)「アジアの女性芸術家展が開幕」
2012. 9.13 西日本新聞(朝)平原奈央子「アジアの女性アーティスト展 命のつながり描き 浮かぶ疎外、孤独、再生」
2012. 9.13 読売新聞(朝)白石知子「45人のアジア女性美術家 弱い者への共感 通底」
2012. 9.14 東洋経済日報(朝)ラワンチャイクン寿子「伝統的規範からの解放を求める 台頭するアジアの女性アーティスト」
2012. 9.20 長崎新聞(朝)有森元司「エンジョイ福岡:アジアをつなぐ」
2012. 9.21 新美術新聞、黒田雷児「通信アジアへ(38) アジア／女性という通路どこへ？」
2012. 9.25 朝日新聞(朝)山口洋三「評 アジアの女性アーティスト展」
2012. 9.27 西日本新聞(朝)ラワンチャイクン寿子「アジアをつなぐ1 林天苗(中国)」
2012. 9.28 西日本新聞(朝)中尾智路「アジアをつなぐ2 グエン・ティ・チャウ・ザン(ベトナム)」
2012. 9.29 西日本新聞(朝)中尾智路「アジアをつなぐ3 アイシャ・ハーリド(パキスタン)」
2012. 9.30 西日本新聞(朝)小勝禮子「アジアをつなぐ4 ユン・ソクナム(韓国)」
- 2012.10. 1 毎日新聞(朝)城山均「境界を生きる女たちー絵画 写真 彫刻など」
- 2012.10. 7 赤旗(朝)「アジアの女性アーティスト展 社会、戦争、歴史を問う」
- 2012.10.25 『インバクシオン』187号、北原恵「『女性』がつなぐ、アジア・美術・周縁の人々」
- 2012.11.30 『アジア女性センターPAG-ASA』61号、「フィリピンの芸術家 アルマ・キントさんを迎えて」
- 2012.12. 1 『美術手帖』12月号、土屋誠「『レビュー:『女性』から『アジア』の歴史・政治へ向けて」
2013. 3. 1 『わたちの21世紀』73号、山崎明子「フェミ×アート:『アジアをつなぐー境界を生きる女たち1984-2012』展」
2013. 4.25 『femin』、いちむらみさこ「『境界を生きる女たち』展を観て」
2013. 4.25 『美術運動史研究会ニュース』135号、香川壇「境界を前にした問い」
2013. 4.25 『美術運動史研究会ニュース』135号、嶋崎吉信「想像力でしょ」
2013. 5.20 『あいだ』203号、レベッカ・ジェニスン「《展覧会レビュー》複数のアジア、複数のものがたり」
2013. 6.16 『women's action network』、クラークソン瑠璃「『アジアをつなぐー境界を生きる女たち 1984-2012』展に触発されて」
(<http://wan.or.jp/art/?p=6519>)

外国語記事

- 2012.10. 1 『art in culture』「アート・ニュース:ヨーロッパからアジアまで、韓国美術の底力確認」
- 2012.11. 1 『典藏 今藝術』岩切澤「叙述亜洲的女性語言」
2013. 4. 1 『月刊美術』金恵信「ワールド・トピック」
2013. 3.14 C.B. Liddell, "The diverse works of Asian women artists," *The Japan Times* (<http://www.japantimes.co.jp/culture/2013/03/14/arts/the-diverse-works-of-asian-women-artists/>)
2013. 5 Rhiannon Paget, "Women in Between: Asian Women Artists, 1984-2012," *Modern Art Asia*, issue 14 (<http://modernartasia.com/women-in-between-asian-women-artists-1984-2012-rhiannon-paget/>)
2013. 6.15 Hien Luu and Jodie Moon, "Women In-Between: Asian Women Artists 1984-2012", *Kyoto Journal* (<http://kyotojournal.org/the-journal/culture-arts/women-in-between-asian-women-artists-1984-2012/>)

関連放送

2012. 9.23 NHK「日曜美術館／アートシーン」
2012. 9.24 USTREAM「第19回コトコトアートカフェ」
(<http://www.ustream.tv/recorded/24843771#/recorded/25672178>)
- 2012.10.10 TNC放送「マニア・マニエラ」
- 2012.10.11 NHK福岡放送局「ぐるっと8県九州沖縄／ごきげん！ふくおかナビ」

溪山清遠—中国現代アート・伝統からの再出発



会 期 2013年1月2日(水)～2月24日(日)
 会 場 企画ギャラリー
 主 催 福岡アジア美術館、成都当代美術館、西日本新聞社、
 TVQ九州放送
 協 力 L-Art Gallery(成都)、Institutions of Chinart
 開 催 日 数 47日
 観 覧 者 数 4,660人
 出 品 点 数 59点

過去30年にわたり模索と発展を続けてきた中国の現代アートは、いま、さらなる変化の時期を迎えている。作家たちは自らの伝統の重要性に気づきはじめ、これまでのポップな様式や政治状況を皮肉った作品で世界中を席卷してきた中国現代アートとは異なる、中国の伝統絵画に基づく新たな展開を見せ始めている。

本展では、若手を中心に19人の作家による最新の作品59点で、伝統からの再出発を目指す中国現代アートの新しい潮流を、日本で初めて本格的に紹介した。現代の「山水画」とも言える静かな内省へと誘う作品からは、伝統の中に新たな活力を見出そうとする中国現代アートの「いま」が感じられた。

タイトルの「溪山清遠」は、中国南宋時代の宮廷画家であった夏珪(12世紀)の同名の山水図巻《溪山清遠図巻》(台北故宮博物院所蔵)に由来する。同図巻の静謐で深遠な絵画世界の精神を、今後の新たな中国現代アートの方向を探るための精神的なより所とした。

ポスター B2 ワーロック[栗田卓哉](デザイン)／
 (株)インテックス福岡(印刷)
 チラシ A4 ワーロック[栗田卓哉](デザイン)／
 (株)インテックス福岡(印刷)
 図 録 A4変形 251頁、和英中
 ワン・ヨン[汪泳](デザイン)／
 Beijing Artron Color Printing co., ltd(印刷)

関連事業 □キュレーター&アーティスト・トーク
 話し手:ルー・ボン(呂澎)<本展ゲスト・キュレーター>、ツァオ・ジンピン(曹敬平)、
 ハア・セン(何森)、リー・ルイ(李瑞)、
 ヤン・ミエン(楊冕)
 [第一部]
 日時:1月26日(土)13:30～15:30
 場所:8階あじびホール
 観衆:87人
 [第二部]
 日時:1月26日(土)15:30～16:30
 場所:7階企画ギャラリー

関連記事

2013. 1. 3 西日本新聞(朝)「中国風景画の〈今〉紹介 福岡アジア美術館〈溪山清遠〉展が開幕」
 2013. 1.12 西日本新聞(夕)「中国風景画の今」
 2013. 1.23 西日本新聞(朝)「中国風景画の新たな流れ紹介」
 2013. 1.27 西日本新聞(朝)「〈伝統からの再出発〉出品作家らが作品解説」
 2013. 2. 7 長崎新聞(朝)有森元司「山水画の今を紹介」
 2013. 2.14 朝日新聞(朝)安斎耕一「中国現代アート展〈溪山清遠〉山水画を現代的にアレンジ」

関連放送

2013. 1. 2 TVQ放送「TVQニュース」
 2013. 1.18 TVQ放送「ルックアップ福岡 週末チェックユウ」
 2013. 2.13 TVQ放送「激PUSH!」

現代アジアの作家シリーズVI

もっと自由に！ガンゴー・ヴィレッジと1980年代・ミャンマーの実験美術



アジアの現代美術作家を紹介する「現代アジアの作家」シリーズの第6回目として、ミャンマー最初の現代美術グループ「ガンゴー・ヴィレッジ・アート・グループ」を紹介した。

1979年にヤンゴン大学の学生や卒業生たちによって設立されたこのグループは、さまざまな実験的試みを毎年の展覧会で発表し、とくに1980年代においてミャンマー美術を牽引してきた。社会主義、軍事政権、民主化運動と激しく移り変わる時代に、若者から壮年となった作家たちの作品は、今なお驚くほど若々しいエネルギーに満ちている。展覧会の開催さえ困難だった時期を乗り越え、さまざまな制約の中で自由な表現を模索してきた作家たちの歩みを、美術グループとしての歴史的活動も含めて、8作家約39点の作品でたどった。

会 期 2012年12月13日(木)～2013年3月20日(水)
 会 場 アジアギャラリーB
 主 催 福岡アジア美術館
 開 催 日 数 80日
 観 覧 者 数 10,212人
 出 品 点 数 39点

ポ ス タ ー B2 田嶋デザイン事務所CYAN(デザイン)／
 秀巧社印刷株式会社(印刷)
 チ ラ シ A4 田嶋デザイン事務所CYAN(デザイン)／
 秀巧社印刷株式会社(印刷)
 図 録 A4変形 田嶋デザイン事務所CYAN(デザイン)／
 秀巧社印刷株式会社(印刷)

関 連 事 業 オープニング・イベント
 「アーティスト・トーク」
 話し手:サン・ミン(出品作家)
 日時:12月13日(木)10:00～11:00
 場所:アジアギャラリーB

関連記事

- 2013. 1. 8 朝日新聞 鳥居達也、中村俊介、安齋耕一「九州・沖縄・山口 2013年はどんな年に？ —記者座談会」
- 2013. 1.21 新美術新聞 黒田雷児「通信アジアへ(42) 不屈の〈現代美術〉—ミャンマーのガンゴー・ヴィレッジ」
- 2013. 1.21 朝日新聞(朝)溝越賢「ミャンマーの独裁政権風刺」
- 2012. 8.18 西日本新聞(朝)五十嵐理奈「土曜エッセー ヤンゴンの熱気」

アジアギャラリーでは、所蔵作品を通し、アジア美術の近代から現代への流れを概観できるよう展示を行った。同ギャラリー内には、そのほかテーマごとに特設コーナー(A, B)を設け、2~3ヶ月おきに展示替えを行った。平成24年度の特設コーナーで開催した展覧会は下記のとおりである。

■アジアギャラリーA

南アジアの宗教と神話的世界

4月5日(木)~7月3日(火)

ヒンドゥー教の神話世界をインド中に広めたヴァルマー・プリントや、新収蔵の釈迦の生涯を描いたスリランカの仏教版画など、南アジアの宗教やその神話的世界を視覚化した20世紀以降の作品を、紹介した。

バリ今昔物語

7月5日(木)~10月2日(火)

儀礼に使われたカマサン様式の絵画から、20世紀前半の西洋近代美術との出会いによって生まれたインドネシアのバリ絵画や彫刻、そして現代の微笑ましい日常をあたたかな眼差しで描いたモコの作品まで、バリ島を舞台に制作された作品を展示した。

活字をめぐる冒険—アートに見る本と文字

10月4日(木)~12月25日(火)

タクル(タゴール)などアジア文学にゆかりの深い作品から、読書する人物を描いた絵画、そして気鋭の現代アーティストによる文字や本を題材とした実験的な作品など、アートと本と文字の密接な結びつきを探った。

中国1979—2009—現代美術の航跡—

2013年1月2日(水)~4月2日(火)

1979年の改革開放によって、中国ではそれまでとは全く異なる新しい美術が船出しました。以来、80年代の実験的な試みを経て、90年代には国際的な大海へ航海し、今日では水先案内人としてアジアの現代美術を牽引する中国現代美術30年の航跡を紹介した。

関連記事

2013. 2.11 毎日新聞(朝)「中国現代美術40点」

■アジアギャラリーB

シンガポール国立美術ギャラリー相互協力協定締結記念
シンガポール美術の創生と展開

3月29日(木)~6月26日(火)

2010年に福岡アジア美術館とシンガポール国立美術ギャラリーの間に結ばれた協力提携を記念して、両館のコレクションを合わせて展示し、シンガポール美術の創生と展開に光をあてた。

関連記事

2012. 4.14 西日本新聞(朝) 塩田芳久「シンガポール美術の創生と展開」展 近現代の美術史を通覧」

2012. 5.29 朝日新聞(朝) 田中修二「『評』美術 福岡アジア美術館『シンガポール美術の創生と展開』パイオニアの苦闘と意欲」

2012. 6. 9 読売新聞(朝)「シンガポールの近代美術史たどる」

演じる人々—芝居・役者・大道芸

6月28日(木)~9月18日(火)

かつて人々の娯楽であった、大衆歌劇や村芝居、大道芸。それはいつしか映画に代わり、俳優・女優たちの映画ポスターや広告が刷られるようになった。本展では、こうした「演じる人々」の魅力に迫る美術作品や印刷物を紹介した。

民衆／美術—版画と社会運動

9月20日(木)~12月11日(火)

1980年代・韓国における反独裁・民主化のための巨大な社会運動のなかで生まれた「民衆美術」のキム・ボンジュンやホン・ソンダム、現在もその精神を継承するイ・ユニョプらの新収蔵作品を中心に紹介した。

関連記事

2012. 9.28 朝日新聞(朝) 佐々木亮「『民衆美術』通し日韓の今考える」

2012. 9.30 朝日新聞(朝) 溝越賢「光州事件描いた洪成潭さん語る」

2012.10.21 新美術新聞 黒田雷児「通信アジアへ(39)『新しい社会を夢見て芸術で答えを出すのが芸術家だ』」

2012.10.26 東洋経済日報 黒田雷児「版画、その精神と肉体の力」

2012.11.14 西日本新聞(朝) 南陽子「韓国『民衆美術』が照射するもの」



交流事業

本事業は、アジア各地で活躍する美術作家や研究者・学芸員等を福岡に招聘し、様々な美術交流事業をおこなうことで、市民がアジアの美術・文化に対する興味を高め、理解を深める一助となることを目指すとともに、アジア美術を取り巻く状況の活性化を目的としている。

美術作家招聘事業



ブディ・アグン・クスワラ
(インドネシア)

1982年生まれ
バリ(インドネシア)在住
滞在期間:2012年5月16日～7月24日

□主な活動

①作品制作

バリ島の大晦日におこなわれる伝統行事で用いられる、人間の邪悪な部分を象徴した張りぼての怪物「オゴオゴ」をビニール袋などの廃材を用いて制作し、それを白黒フィルムで撮影して、キャンバスにプリントし、加筆した平面作品3点を制作した。また、「オゴオゴ」のパレードの様子を映した記録映像を制作した。

②ワークショップ

●6月12日

「私のオゴオゴを作ろう！」

参加者:福岡市立愛宕小学校 6年生 133人

場 所:彫刻ラウンジ、あじびホール

●7月14日

「オゴオゴの制作」

参加者:第18回九州高等学校文化連盟美術・工芸、書道、写真展(福岡大会)美術・工芸部門代表生徒 80人

場 所:彫刻ラウンジ、あじびホール

③トーク

●5月19日

「滞在者によるトーク～これまでの活動と福岡での予定～」

参加者:一般 40人

場 所:あじびホール

●7月3日

トーク(施設等を活用した体験学習)

参加者:福岡市立原北中学校 1年生 246人

場 所:交流スタジオ

●7月14日

「第18回九州高等学校文化連盟美術・工芸・書道・写真展(福岡大会)作品講評会・講演会」

参加者:九州8県代表生徒 280人

場 所:都久志会館

●7月21日

「第12回アーティスト・イン・レジデンスの成果展パート1」

ギャラリー・トーク

参加者:一般 67人

場 所:交流ギャラリー

④展覧会

●7月21日～8月6日

「第12回アーティスト・イン・レジデンスの成果展パート1」

観覧者数:1,409人

場 所:交流ギャラリー



チェン・チンヤオ／陳擎耀
(台湾)

1976年生まれ
台北(台湾)在住
滞在期間:2012年5月19日～7月24日

□主な活動

①作品制作

2009年より展開している「レストラン・プロジェクト」の一環として、福岡市内のラーメン屋、カレー屋、ナポリタン・スパゲティを出す喫茶店、和食屋で、それぞれの場所に中国、インド、マフィア(イタリアのギャング)、江戸時代の侍と町人の衣装をまとった人たを配した写真作品4点と、国籍の異なる5人の男たちが体操服を着て商店街でラジオ体操をしているビデオ作品を制作した。

②ワークショップ

●6月19日

「Wonder Photo」

参加者:西南学院小学校 5年生 70人

場 所:彫刻ラウンジ、交流スタジオ

●6月26日

「Wonder Photo」

参加者:福岡市立壱岐ヶ丘中学校 2年生 85人

場 所:彫刻ラウンジ、交流スタジオ

③トーク

●5月19日

「滞在者によるトーク～これまでの活動と福岡での予定～」

参加者:一般 40人

場 所:あじびホール

●6月8日

ワークショップ「Wonder Photo」事前トーク

参加者:西南学院小学校 5年生 70人

場 所:西南学院小学校

●7月10日

トーク(施設等を活用した体験学習)

参加者:福岡市立和白丘中学校 1年生 280人

場 所:交流スタジオ

●7月21日

「第12回アーティスト・イン・レジデンスの成果展パート1」

ギャラリー・トーク

参加者:一般 67人

場 所:交流ギャラリー

④展覧会

●7月21日～8月6日

「第12回アーティスト・イン・レジデンスの成果展パート1」

観覧者:1,409人

場 所:交流ギャラリー



ランプー・カンサノウ
(タイ)

1983年生まれ
サムットソクラーム(タイ)在住
滞在期間:2012年9月15日~11月20日

□主な活動

①作品制作

福岡で出会ったさまざまな人々をモデルにした油彩画5点を制作した。

②ワークショップ

●10月6日

「お気に入りの服にリメイクしよう！」

参加者:古賀市立古賀北中学校 美術部 17人

場 所:交流スタジオ

●10月16日

「タイのクラトーン制作」

参加者:春日市立春日北中学校 2年生 130人

場 所:春日市立春日北中学校

●10月29日

「友だちや自分の変顔を描こう！」

参加者:福岡市立石丸小学校 3年生 114人

場 所:福岡市立石丸小学校

③トーク

●9月17日

「滞在者によるトーク~これまでの活動と福岡での予定~」

参加者:一般 57人

場 所:交流スタジオ

●11月17日

「第12回アーティスト・イン・レジデンスの成果展パート2」

ギャラリー・トーク

参加者:一般 67人

場 所:交流ギャラリー

④展覧会

●11月17日~12月3日

「第12回アーティスト・イン・レジデンスの成果展パート2」

観覧者:1,599人

場 所:交流ギャラリー

⑤地域交流イベント

●10月20日

「博多リバレイン灯明」

場 所:博多リバレイン フェスタスクエア



アズリザ・ビンティ・アヨボ
(マレーシア)

1975年生まれ
クアラルンプール(マレーシア)在住
滞在期間:2012年9月15日~11月20日

□主な活動

①作品制作

2006年から制作している「Tumpang」シリーズをさらに展開させ、福岡の人々と一緒に2,388個のキノコを制作し、インスタレーション作品を完成させた。

②ワークショップ

●10月11日

「珍しいキノコを作ろう！」

参加者:福岡市立有田小学校 3年生 105人

場 所:彫刻ラウンジ

③トーク

●9月17日

「滞在者によるトーク~これまでの活動と福岡での予定~」

参加者:一般 57人

場 所:交流スタジオ

●10月5日

トークと創作体験

参加者:福岡市立原中学校 2年生 195人

場 所:彫刻ラウンジ

●11月17日

「第12回アーティスト・イン・レジデンスの成果展パート2」

ギャラリー・トーク

参加者:一般 65人

場 所:交流ギャラリー

④展覧会

●11月17日~12月3日

「第12回アーティスト・イン・レジデンスの成果展パート2」

観覧者:1,599人

場 所:交流ギャラリー

研究者・学芸員等招聘事業



シンゲ・サムドゥルツ
(ブータン)

1975年生まれ
パロ(ブータン)在住
滞在期間:2013年1月31日～3月15日

□主な活動

- ①調査・研究
アジア美術館の所蔵品で、アジアの近現代美術を調査・研究した。
- ②教育プログラム
 - ・美術講座
 - 2月10日
「あじび美術講座2013 ブータンの文化と生活」
参加者:一般 66人
場 所:あじびホール
 - ・トーク
 - 2月7日
「ブータンの暮らしと文化について」
参加者:九州大学病院(院内学級)の生徒 8人
場 所:九州大学病院
 - 2月15日
「ブータンの暮らしと文化について」
参加者:福岡市立東住吉小学校 5年生 45人
場 所:あじびホール



アンタリクサ
(インドネシア)

1975年生まれ
ジョグジャカルタ(インドネシア)在住
滞在期間:2013年2月1日～3月14日

□主な活動

- ①調査・研究
「戦時下におけるアジアのイメージ」をテーマに、第二次世界大戦中におけるアジア諸国の美術表現を当館の所蔵品から研究した。
- ②教育プログラム
 - ・美術講座
 - 2月9日
「あじび美術講座2013ジョグジャカルタ～福岡 アートの現場一拠点づくりをめざして」
参加者:一般 67人
場 所:あじびホール
 - ・トーク
 - 2月28日
「インドネシアの社会と文化について」
参加者:福岡市立城南中学校 2年生 277人
場 所:あじびホール

交流事業

2 受入支援事業

他の機関から助成等を受けて自費で福岡に滞在し、作品制作や調査研究を行うことを希望するアジアの美術作家やアジア美術の研究者・学芸員に対して、制作や調査活動を支援した。



リュウ・ヤティン／劉雅婷
(台湾)

1986年生まれ
台北(台湾)在住
滞在期間:2012年9月3日～11月30日

現代芸術基金会(台湾)からの助成で来日。当館の招聘事業、展覧会事業等について研修した。

□主な活動

- ・トーク
「折星星(ザー・シン・シン)」
- 10月5日
参加者:福岡市立春吉小学校 4年生 41人
場 所:彫刻ラウンジ
- 10月26日
参加者:福岡市立当仁小学校 2年生 90人
場 所:彫刻ラウンジ

交流事業

3 地域交流事業

「博多リバレインド明」

(「第17回博多灯明ウォッチング2012」同時開催)

10月20日(土)18:00～21:00
場 所:博多リバレインドフェスタスクエア

博多リバレインドが毎秋開催している「博多リバレインド明」に、美術作家招聘事業で滞在していたランブー・カンサノウ(タイ)が参加した。タイの灯籠祭りをテーマに、川の流れと花火のあがった満月の空を下絵として描き、数千個の灯明を博多リバレインド1階のフェスタスクエアに設置した。



博多リバレインド明

教育普及事業

1 体験学習、博物館実習等

団体見学

小呂中学校	2年生	6人	4月24日(総合)
今津特別支援学校		38人	5月18日(特別活動)
生の松原特別支援学校		29人	5月24日(生活単元)
愛宕小学校	6年生	139人	6月12日(図工・総合)
三筑中学校 特別支援学級生徒		7人	6月14日(生活単元)
長住小学校 特別支援学級児童		34人	6月15日(総合)
杵岐丘中学校	2年生	89人	6月26日(特別活動)
原北中学校	1年生	254人	7月3日(総合)
和白丘中学校	1年生	265人	7月10日(美術)
板付小学校	6年生	112人	9月13日(総合)
賀茂小学校	3年生	95人	9月14日(図工)
住吉小学校	1年生	107人	9月21日(図工)
住吉小学校	2年生	93人	9月25日(図工)
警固小学校	3年生	45人	10月2日(図工)
春吉小学校	4年生	42人	10月5日(図工)
原中学校	2年生	197人	10月5日(美術)
有田小学校	3年生	106人	10月11日(図工)
城原小学校	6年生	74人	10月16日(図工)
千早小学校	6年生	85人	10月16日(図工)
香陵小学校	6年生	71人	10月18日(図工)
三苦小学校	6年生	136人	10月18日(図工)
飯倉中央小学校	6年生	55人	10月18日(図工)
住吉小学校	3年生	86人	10月19日(図工)
弥生小学校	6年生	60人	10月19日(図工)
住吉小学校	4年生	125人	10月23日(図工)
当仁小学校	2年生	96人	10月26日(図工)
住吉小学校	6年生	95人	11月13日(図工)
住吉小学校	5年生	93人	11月27日(図工)
南当仁小学校	4年生	102人	2月8日(図工)
東住吉小学校	5年生	43人	2月15日(図工)
城南中学校	2年生	285人	2月28日(美術)
博多小学校	5年生	121人	3月12日、14日(図工)
舞鶴小学校、大名小学校	5年生	32人	3月19日(図工)

職場体験学習

博多中学校	4人	(8月21日～23日)
東住吉中学校	5人	(8月22日、23日)
東光中学校	3人	(8月22日、23日)
内浜中学校	5人	(8月22日、24日)
福岡雙葉中学校	4人	(8月27日、28日)
那珂中学校	5人	(9月5日～7日)
片江中学校	4人	(9月11日、12日)
平尾中学校	5人	(9月12日、13日)
筑紫丘中学校	2人	(9月11日～13日)
宮竹中学校	4人	(9月11日～13日)
吉塚中学校	2人	(9月11日～13日)
城西中学校	3人	(9月26日～27日)
警固中学校	5人	(9月26日～27日)

平成24年度夏期インターンシップ研修

福岡雙葉高等学校	1人	(8月6日～11日)
福岡女学院高等学校	1人	(8月6日～11日)
博多高等学校	1人	(8月6日～11日)
福岡女子高等学校	3人	(8月6日～11日、 8月20日～25日)
筑紫台高等学校	1人	(8月20日～25日)
立花高等学校	2人	(8月20日～25日)

博物館実習(5月から10月までの中で10日間程度)

福岡大学	1人
西南学院大学	1人
九州産業大学	1人
福岡教育大学	1人
佐賀大学	1人
京都造形芸術大学	1人

インターンシップ

福岡県立玄界高等学校	2人	(8月8日～10日)
------------	----	------------

教育普及事業

2 とびだせ！アジア美術館事業

心身の疾病や障がい、保護の必要性などの理由から来館自体が非常に困難な子どもたちを対象に、入院・入所する施設内で、所蔵品展示やトークを行い、アジアの美術・文化に触れる機会を提供した。

◎滞在者によるトーク

九州大学病院

2月7日(木)11:00～12:00

「ブータンの暮らしと文化について」

講師：シンゲ・サムドルップ(ブータン国立博物館学芸員)

福岡市立東福岡特別支援学校

3月13日(水)～18日(月)

作品展示：絵画3点

福岡市立西長住小学校

3月5日(火)～8日(金)

作品展示：絵画10点

「福岡ミュージアムウィーク2012」

美術館・博物館の役割である「出会いの場」「知識の場」「発見の場」をより多くの人々に知ってもらうため、5月18日の「国際博物館の日」を記念して福岡市内の7館(福岡市博物館、福岡市美術館、福岡アジア美術館、福岡県立美術館、福岡市埋蔵文化センター、「博多町屋」ふるさと館、王貞治ベースボールミュージアム)が連携し、5月12日から20日まで様々な催しを開催した。

福岡アジア美術館の催し

□マサラワラー・ライブ

5月12日(土)11:30~20:00

参加者:387人(料理187人、ライブペインティング&パフォーマンス120人、インド舞踊80人)

場 所:FAAM CAFÉ(7F)



マサラワラー・ライブ

□講演会

横尾忠則講演会

5月17日(木)18:30~20:00

参加者:200人

場 所:彫刻ラウンジ



横尾忠則講演会

□ギャラリーツアー

5月12日(土)、14日(月)~15日(火)、17日(木)~19日(土)

14:00~14:40

参加者:42人

場 所:アジアギャラリー

□バックヤードツアー

5月13日(日)、20日(日)14:00~15:00

参加者:42人

場 所:バックヤード



バックヤードツアー

□アジアの絵本の読み聞かせ

5月12日(土)、13日(日)、19日(土)、20日(日)

①11:30~12:00 ②13:30~14:00

参加者:未就学児と保護者 127人・54組

□滞在作家によるトーク

5月19日(土)14:00~16:00

講 師:プティ・アグン・クスワラ(インドネシア)、

チェン・チンヤオ/陳肇耀(台湾)

場 所:あじびホール

参加者:40人

□その他

●アジアギャラリー観覧料無料

●4館を巡るスタンプラリー

●カフェ、ショップでの割引サービス

●福岡シティループバス「ぐりーん」で巡るミュージアムガイドツアー

5月15日(火)12:00~13:50

参加者:24人

場 所:アジアギャラリー

ボランティア活動

4月に組織改編をおこない、これまでグループでおこなってきた「交流ボランティア」の活動を全員でおこなうこととし、「読み聞かせボランティア」「展覧会情報ボランティア」「活動支援ボランティア」を新たな活動グループとした。

昨年度末(2月～3月)に実施した追加募集の応募者を対象に、ボランティア養成研修を実施した(4月～8月)。受講者は8回の研修と面談を経て10月から活動を開始した。

【ボランティアデータ】

ボランティア登録者数(人)

平成24年10月現在

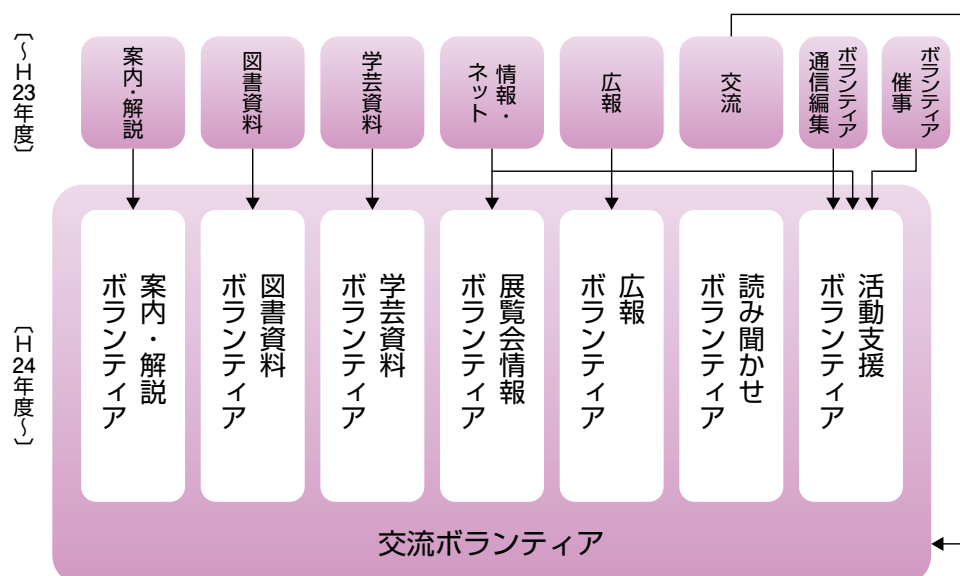
	現行	新規加入	合計
	135	123	258

活動グループ(人)

平成24年10月現在

活動グループ	活動内容	現行	新規加入	合計
案内・解説	アジアギャラリーの作品解説や施設案内	36	50	86
図書資料	図書資料の整理・修理、配架	43	28	71
学芸資料	新聞記事のスクラップ、学芸関連使用の整理補助	32	31	63
展覧会情報	展覧会のチラシの整理、雑誌掲載記事の整理	17	15	32
広報	美術館広報誌や特別企画展などの印刷物の発送	19	17	36
読み聞かせ	絵本や紙芝居の読み聞かせ	17	23	40
活動支援	ボランティア向けブログの作成やメール配信、研修や親睦会の企画	7	11	18
交流	滞在美術作家・研究者の活動や地域交流イベントなどのサポート	135	123	258
のべ人数		306	298	604

活動グループ改編図



活動

【案内・解説】

4月1日より活動開始。休館日を除く毎日(13:00~16:00)アジアギャラリーで作品解説をおこなった。また、学校を含む団体観覧者向けに施設案内と作品解説をおこなった。5月12日~20日のミュージアムウィーク期間中に、アジアギャラリーの来場者を対象にしたギャラリーツアーやグリーンバスの利用者向けに作品解説をおこなった。毎月最終土曜日にミーティングを開催した。

【図書資料】

4月3日より活動開始。おもな活動日を毎月10日と20日とし、それ以外の日程にも随時(毎月2日以上、1日につき2時間以上)活動をおこなった。4月21日、6月30日、11月20日にグループミーティング、3月8日に親睦会を開催した。

【学芸資料】

4月3日より活動開始。随時(毎月2日以上、1日につき2時間以上)活動をおこなった。毎月16日にグループミーティングを開催し、活動状況の確認および館の事業についての情報交換などをおこなった。

【展覧会情報】

4月5日より活動開始。以後、第1・3木曜および第2・4土曜を中心に活動をおこなった。活動後に毎回ミーティングを開催した。

【広報】

4月21日に活動を開始し、グループミーティングをおこなった。特別企画展(3件)および広報誌「あじびニュース」(4件)の発送作業をおこなった。また、印刷物の設置や配布作業も随時おこなった。

【読み聞かせ】

4月10日より活動開始。以後毎月第2火曜日に未就学児・児童と保護者を対象に、アジアの絵本と紙芝居の読み聞かせをおこなった(各日2回開催)。7月25日~8月21日開催の「おいでよ!絵本ミュージアム2012」期間中にも活動をおこなった(毎週水曜日)。

新メンバーが加入した10月~12月は開催日を月2回に増やし(毎月第2火曜、日曜)2013年1月からは、さらに月4回(毎月第2、第4火曜、日曜)に増やして活動をおこなった。

【活動支援】

4月21日より活動開始。グループミーティングを随時開催し、ボランティア活動の充実を図るための催事を企画、実施した。また、グループ同士のつながりを強化するため、連絡当番ミーティングを開催した。前年度までボランティア通信編集ボランティアが発行してきた「ボランティア通信」を「ボランティアブログ」に切り替え、更新した。



第12回ボランティア研修会



アジアの絵本と紙芝居の読み聞かせ(読み聞かせボランティア)



アズリザ・ピンディ・アヨボの作品制作(交流ボランティア)

- ◇ボランティア研修会
 - 6月23日 第11回「VTS方式による対話型作品鑑賞の実践と概要について」
講師：蒲池昌江
 - 8月25日 第12回「中国調査よもやま話—1999～2012」
講師：堀川理沙
 - 1月12日 第13回「当日のお楽しみに!!」講師：中尾智路
- ◇レジデンス歓迎会
 - 5月19日 第Ⅰ期レジデンス・プログラム 会場：会議室
 - 9月18日 第Ⅱ期レジデンス・プログラム 会場：会議室
- ◇ボランティア交流会
 - 12月5日 会場：彫刻ラウンジ
- ◇連絡当番ミーティング
 - 6月30日、8月25日、1月12日 会場：ボランティア室および会議室

- 第8回：7月31日・8月4日
 - ①ボランティア活動の心得
 - ②ボランティア活動の実地見学
- 面談 8月20日～9月13日
- 認定式 10月13日 会場：あじびホール
- 活動開始 10月20日
(案内・解説ボランティアは12月～3月は実地研修)
- ◇ボランティア総会
 - 12月5日 会場：あじびホール
 - おもな議題：登録更新と新規ボランティアについて
- ◇ボランティア向けギャラリートーク
 - アジアギャラリーの展示替え毎に担当学芸員がギャラリートークをおこなった(1日2回)。

【交流】

7月25日～8月21日「おいでよ！絵本ミュージアム2012」の会場案内、誘導などをおこなった。9月～11月に第Ⅱ期レジデンスプログラムで滞在したアズリザ・ビンディ・アヨボ(マレーシア)の作品制作を支援した。10月20日に「博多リバレイン灯明」の設置作業をおこなった。

【その他】

- ◇新規ボランティア養成日程
 - 養成研修 第1回：4月3日・7日
 - ①美術館ボランティアとは
 - ②福岡アジア美術館のボランティアについて
 - ③福岡アジア美術館施設見学
 - 第2回：4月17日・21日
 - ①福岡アジア美術館の使命と活動概要
 - ②福岡トリエンナーレについて
 - 第3回：5月8日・12日
 - 福岡アジア美術館の事業1
収集・展示
 - 第4回：6月2日・5日
 - 福岡アジア美術館の事業2
交流事業・教育普及事業
 - 第5回：6月16日・19日
 - 展示会ができるまで
(企画から作品選考・会場設営・展示・広報)
 - 第6回：7月3日・7日
 - ①美術作品について
(ジャンル・技法・材質・時代など)
 - ②美術作品の保存と取り扱いについて
 - 第7回：7月17日・21日
 - ①福岡アジア美術館の資料
(作家・作家資料、写真資料、図書資料など)
 - ②来館者への対応、接遇について



第4回ボランティア養成研修



認定式

あじびニュース



Vol.48 2012.4.1発行

- 2012年度展覧会スケジュール
- 2012年度レジデンス・プログラム
- シンガポール美術の創生と展開
- 南アジアの進行と神話的世界
- 私の逸品—津田三朗さん(アーティスト)
- 今年も開催！福岡ミュージアムウィーク2012
- 福岡アジア美術館インフォメーション2012年4月-6月



Vol.50 2012.10.1発行

- アジアをつなぐー境界を生きる女たち1984-2012
- 活字をめぐる冒険ーアートに見る本と文字
- 民衆/美術ー版画と社会運動
- 発刊50号特集パート1ープロフィール・オブ・あじびニュース
- 発刊50号特集パート2ーレジデンス・プログラムよもやま話集
- 福岡アジア美術館インフォメーション2012年10月-12月



Vol.49 2012.7.1発行

- おいでよ！絵本ミュージアム2012
- バリ今昔物語
- 演じる人々ー芝居・役者・大道芸
- アジアをつなぐー境界を生きる女たち1984-2012
- 解明！レジデンスプログラムの謎
- レジデンス・プログラム第I期
- 福岡ミュージアムウィーク2012
- 私の逸品ーマサラワラー(インド料理ユニット)
- 文化芸術情報館アトリエがあじびに移転オープン
- 福岡アジア美術館インフォメーション2011年7月-9月



Vol.51 2013.1.1発行

- 溪山清遠ー中国現代アート・伝統からの再出発
- 中国1979-2009ー現代美術の航跡ー
- もっと自由に！ーガンゴー・ヴィレッジと1980年代・ミャンマーの実験美術
- 「第12回アーティスト・イン・レジデンスの成果展パート2」レポート
- レジデンス・プログラム第III期
- リュウ・ヤティンさんからの感想
- ランブーさんデザインの地上絵が！
- あじびボランティア新加入！
- 私の逸品ー棧紀子さん(uchu-doオーナー)
- 福岡アジア美術館インフォメーション2013年1月-3月

規格:A4 8ページ 企画・発行:福岡アジア美術館 編集:木下貴子(CXB)
デザイン:荻原晋一(n4g.jp) 和文英訳:ステファニー・オリ

リーフレット

平成25年度展覧会リーフレット

2012.3.31発行

- 展覧会のご案内2012年4月～2013年3月
- 交流ギャラリー
- レジデンス事業のご案内

規格:

幅594×縦210mm(両面カラー・6つ折り)

企画・発行:福岡アジア美術館

デザイン:作本知枝美

ホームページ

<http://faam.city.fukuoka.lg.jp/>

コンテンツ

美術館について/基本理念、活動案内、施設概要、美術館ができるまで、アジア美術館の歩み

コレクション/収集方針、主な作品、所蔵品検索

美術館だより/最新トピックス、バックナンバー

利用案内/利用案内、交通案内、館内マップ、FAAM CAFÉ

出版物・グッズ/出版物・グッズ、展覧会図録ほか、広報誌、オリジナルグッズ、PDFデータ(事業報告書ほか)

展覧会案内/展覧会最新情報、スケジュール

イベント案内/最新のイベント、過去のイベント

レジデンス事業/今年度の滞在者、過去の滞在者、事業報告書、募集要項



所蔵作品

新所蔵作品数 H24年度

	購入	寄贈	合計
絵画	8	0	8
版画	8	0	8
映像	1	2	3
写真	20	8	28
合計	37	10	47

番号 制作者
タイトル
制作年
ジャンル 素材
サイズ(cm) 制作地

新所蔵作品一覧

- | | | | |
|--|---|---|--|
| 1 キム・ボンジュン(金鳳駿)
花遊び
1983
版画 木版、水彩・紙
24.1×26.4 韓国 | 9 ロン・ジンサン(郎静山)
蘇州をゆく
1933
写真 ゼラチン・シルバー・プリント
32.2×24.5 台湾 | 15 ダグヴァサンブー・ウーリー
ンツヤ
わたしは鳳
2009
絵画 水彩・紙
100.0×70.0 モンゴル | 22 ニエ・レイ
制限された事柄の関係性-4
2010(2012)
写真 インクジェット・プリント
91.8×61.0 ミャンマー |
| 2 キム・ボンジュン(金鳳駿)
故郷 地 父母 兄弟
1983
版画 木版、水彩・紙
34.0×25.4 韓国 | 10 ロン・ジンサン(郎静山)
華溪の塩工場
1938
写真 ゼラチン・シルバー・プリント
36.2×25.4 台湾 | 16 ダグヴァサンブー・ウーリー
ンツヤ
天の窓
2011
絵画 アクリル・画布
130.0×115.0 モンゴル | 23 ニエ・レイ
制限された事柄の関係性-6
2010(2012)
写真 インクジェット・プリント
61.0×91.8 ミャンマー |
| 3 キム・ボンジュン(金鳳駿)
招魂図
1985
版画 木版、水彩・布(紙マウント)
43.2×120.7 韓国 | 11 ロン・ジンサン(郎静山)
雁蕩山の春
1941
写真 ゼラチン・シルバー・プリント
38.7×24.0 台湾 | 17 イ・スギョン
炎
2007
絵画 辰砂・韓紙
196.0×260.0 韓国 | 24 ニエ・レイ
死んでいる自己の観察-3
2011(2012)
写真 インクジェット・プリント
91.5×136.7 ミャンマー |
| 4 キム・ボンジュン(金鳳駿)
黎明
1991
版画 木版、紙
43.6×55.5 韓国 | 12 ロン・ジンサン(郎静山)
絶壁をめぐる雲
1942
写真 ゼラチン・シルバー・プリント
23.7×18.9 台湾 | 18 ジョン・ジョンヨブ
祭り
2011
絵画 油彩・画布
112.0×112.0 韓国 | 25 ニエ・レイ
死んでいる自己の観察-8
2011(2012)
写真 インクジェット・プリント
91.5×136.7 ミャンマー |
| 5 キム・ボンジュン(金鳳駿)
解放のその日まで
1991
版画 シルクスクリーン・紙
36.4×50.8 韓国 | 13 ジャルハージャブ・ムンフ
ツェツェグ
沈黙シリーズ 1
2009
絵画 水彩、ボールペン、写真・紙(コラージュ)
78.0×54.0 モンゴル | 19 ジョン・ジョンヨブ
あそび
2011
絵画 油彩・画布
180.0×130.0 韓国 | 26 ニエ・レイ
死んでいる自己の観察-10
2011(2012)
写真 インクジェット・プリント
91.5×136.7 ミャンマー |
| 6 キム・ボンジュン(金鳳駿)
ピコ労働者 生存権闘争図
1991
版画 シルクスクリーン・紙
37.9×35.9 韓国 | 14 ジャルハージャブ・ムンフ
ツェツェグ
沈黙シリーズ 2
2009
絵画 水彩、ボールペン、写真、布・紙(コラージュ)
78.0×54.0 モンゴル | 20 グエン・ティ・チャウ・ザン
わたしは龍
2012
絵画 水彩・絹
120.0×80.0 ベトナム | 27 石川真生
フィリピン人ダンサー
沖縄県、金武町-1
1988-89(2012)
写真 ゼラチン・シルバー・プリント
27.9×35.6 日本 |
| 7 キム・ボンジュン(金鳳駿)
統一の丘
1992
版画 シルクスクリーン・紙
46.4×34.9 韓国 | | 21 ニエ・レイ
制限された事柄の関係性-2
2010(2012)
写真 インクジェット・プリント
91.8×61.0 ミャンマー | 28 石川真生
フィリピン人ダンサー
沖縄県、金武町-2
1988-89(2012)
写真 ゼラチン・シルバー・プリント
35.6×27.9 日本 |
| 8 キム・ボンジュン(金鳳駿)
夢うつつ
1996
版画 木版、水彩・紙
52.0×38.8 韓国 | | | |



ロン・ジンサン(郎静山)
雁蕩山の春
1941年
ゼラチンシルバープリント
38.7×24.0

- | | | | |
|---|--|--|---|
| <p>29 石川真生
フィリピン人ダンサー
沖縄県、金武町-3
1988-89(2012)
写真 ゼラチン・シルバー・プリント
27.9×35.6 日本</p> | <p>35 石川真生
フィリピン人ダンサー
フィリピン、バギオ
1988-89(2012)
写真 ゼラチン・シルバー・プリント
27.9×35.6 日本</p> | <p>41 チェン・チンヤオ(陳擎耀)
パバツール、ソーホー
(I♥NY Series)
2009
写真 レーザー・プリント
55.5×74.0 台湾</p> | <p>47 ホウ・ルル・シュウズ
(候淑姿)
彼方を望んで:アジアから来た花嫁の歌(Ⅲ)
2009
ビデオ
14分51秒 台湾</p> |
| <p>30 石川真生
フィリピン人ダンサー
沖縄県、金武町-4
1988-89(2012)
写真 ゼラチン・シルバー・プリント
27.9×35.6 日本</p> | <p>36 石川真生
フィリピン人ダンサー
フィリピン、マニラ
1988-89(2012)
写真 ゼラチン・シルバー・プリント
27.9×35.6 日本</p> | <p>42 チェン・チンヤオ(陳擎耀)
博多ラーメン/三九ラーメン・どこを見て?(レストラン・プロジェクト in 福岡)
2012
写真 レーザー・プリント
55.5×74.0 台湾</p> | |
| <p>31 石川真生
フィリピン人ダンサー
沖縄県、金武町-5
1988-89(2012)
写真 ゼラチン・シルバー・プリント
27.9×35.6 日本</p> | <p>37 塩田千春
Wall
2010
ビデオ
3分39秒 日本</p> | <p>43 チェン・チンヤオ(陳擎耀)
居酒屋/庵・酔ったお客さま
(レストラン・プロジェクト in 福岡)
2012
写真 レーザー・プリント
55.5×74.0 台湾</p> | |
| <p>32 石川真生
フィリピン人ダンサー
フィリピン、オロンガポー-1
1988-89(2012)
写真 ゼラチン・シルバー・プリント
27.9×35.6 日本</p> | <p>38 チェン・チンヤオ(陳擎耀)
ル・プフ・ア・ラ・モード、
アッパーイーストサイド
(I♥NY Series)
2009
写真 レーザー・プリント
55.5×74.0 台湾</p> | <p>44 チェン・チンヤオ(陳擎耀)
カレー屋/パークレー・ヨガ
マスターの三兄弟(レストラン・プロジェクト in 福岡)
2012
写真 レーザー・プリント
55.5×74.0 台湾</p> | |
| <p>33 石川真生
フィリピン人ダンサー
フィリピン、オロンガポー-2
1988-89(2012)
写真 ゼラチン・シルバー・プリント
27.9×35.6 日本</p> | <p>39 チェン・チンヤオ(陳擎耀)
ディム・サム・ゴーゴー、
チャイナタウン
(I♥NY Series)
2009
写真 レーザー・プリント
55.5×74.0 台湾</p> | <p>45 チェン・チンヤオ(陳擎耀)
喫茶店/琥珀館・これはナポリ
リタンじゃない!(レストラン・プロジェクト in 福岡)
2012
写真 レーザー・プリント
55.5×74.0 台湾</p> | |
| <p>34 石川真生
フィリピン人ダンサー
フィリピン、オロンガポー-3
1988-89(2012)
写真 ゼラチン・シルバー・プリント
27.9×35.6 日本</p> | <p>40 チェン・チンヤオ(陳擎耀)
スター・オン・18、チエルシー
(I♥NY Series)
2009
写真 レーザー・プリント
55.5×74.0 台湾</p> | <p>46 チェン・チンヤオ(陳擎耀)
国際ラジオ体操
2012
ビデオ
3分30秒 台湾</p> | |

①

貸出先: 沖縄県立博物館・美術館、栃木県立美術館、三重県立美術館

展覧会名: アジアをつなぐ一境界を生きる女たち 1984-2012

展覧会会期: 沖縄 2012年11月27日(火)~2013年1月6日(日)

栃木 2013年1月26日(土)~3月24日(日)

三重 2013年4月13日(土)~6月23日(日)

貸出点数: 62点

入場者数: 沖縄 2,853人、栃木 3,779人、三重 5,313人

作者	作品名
1. ハン・ティ・ファム	家族を再定義する #1
2. ハン・ティ・ファム	家族を再定義する #2
3. ハン・ティ・ファム	家族を再定義する #3
4. ハン・ティ・ファム	家族を再定義する #4
5. ハン・ティ・ファム	家族を再定義する #5
6. ハン・ティ・ファム	家族を再定義する #6
7. ハン・ティ・ファム	家族を再定義する #7
8. ハン・ティ・ファム	家族を再定義する #8
9. ハン・ティ・ファム	家族を再定義する #9
10. イメルダ・カヒーベ=エンダーヤ	ゴルゴタの地へ
11. エン・フェウチュウ(楊惠珠)	女性の役割
12. キムスージャ	演繹的オブジェ
13. アマンダ・ヘン	もうひとりの女 No.1
14. アマンダ・ヘン	もうひとりの女 No.2
15. アマンダ・ヘン	もうひとりの女 No.3
16. アマンダ・ヘン	もうひとりの女 No.4
17. アマンダ・ヘン	もうひとりの女 No.5
18. アマンダ・ヘン	もうひとりの女 No.6
19. アマンダ・ヘン	もうひとりの女 No.7
20. アマンダ・ヘン	もうひとりの女 No.8
21. アマンダ・ヘン	もうひとりの女 No.9
22. アマンダ・ヘン	もうひとりの女 No.10
23. アマンダ・ヘン	もうひとりの女 No.11
24. アマンダ・ヘン	もうひとりの女 No.12
25. アマンダ・ヘン	もうひとりの女 No.13
26. アマンダ・ヘン	もうひとりの女 No.14
27. ナリニ・マラニ	略奪された岸辺
28. ナヴジョート、ラジクマール、シャンティバイ、ガスラムの共同制作	もうひとつの実践方法—世界をいかに作るか
29. イン・シウジェン(尹秀珍)	スーツケース2001
30. アイシャ・ハーリド	模様のある沈黙
31. アイシャ・ハーリド	沈黙
32. アイシャ・ハーリド	形×模様 #1
33. アイシャ・ハーリド	形×模様 #2
34. アイシャ・ハーリド	アムステルダム #1
35. アイシャ・ハーリド	ビーナスの誕生

作者	作品名
36. アスミナ・ランジット	髪ワープ:宇宙を編む旅(編んだ髪)
37. アスミナ・ランジット	髪ワープ:宇宙を編む旅(素描 1)
38. アスミナ・ランジット	髪ワープ:宇宙を編む旅(素描 2)
39. アスミナ・ランジット	髪ワープ:宇宙を編む旅(素描 3)
40. アスミナ・ランジット	髪ワープ:宇宙を編む旅(素描 4)
41. アスミナ・ランジット	髪ワープ:宇宙を編む旅(素描 5)
42. アスミナ・ランジット	髪ワープ:宇宙を編む旅(素描 6)
43. アスミナ・ランジット	髪ワープ:宇宙を編む旅-私を私のままに
44. ピナリー・サンピタック	乳房の塔
45. リン・ティエンミャオ(林天苗)	卵 #3
46. アイシャ・マリアム・ドゥッラーニー	名誉の名のもとに
47. ハビーバ・ザマン・ハーン	成長する関係 2
48. シルバ・グプタ	無題
49. ナズリー・ライラ・モンスール	ルイス・カーンの夢:ラブンツェル
50. ナズリー・ライラ・モンスール	使える絵画:食卓
51. ニルーファル・チャマン	結ばれるもの 1
52. ニルーファル・チャマン	ねじられるもの 2
53. ニルーファル・チャマン	結ばれるもの 3
54. シャージア・シカンダル	SpiNN
55. ザリナ・ハシミ	多くの部屋のある家 1 部屋がいっぱいある家に住んでいた
56. ザリナ・ハシミ	多くの部屋のある家 2 部屋から部屋へと歩く
57. ザリナ・ハシミ	多くの部屋のある家 3 壁にさわりながら
58. ザリナ・ハシミ	多くの部屋のある家 4 絶望のいろんな境界
59. ジャルハージャブ・ムンフツェツェグ	沈黙シリーズ 1
60. ジャルハージャブ・ムンフツェツェグ	沈黙シリーズ 2
61. ダグヴァサンブー・ウーリーーンツヤ	わたしは風
62. ダグヴァサンブー・ウーリーーンツヤ	天の窓

②

貸出先:福岡市美術館、福岡県立美術館
 展覧会名:福岡現代美術クロニクル 1970-2000
 展覧会会期:2013年1月5日(土)~2月11日(月)
 貸出点数:5点
 入場者数:9,240人

作者	作品名
1. タン・ダウ(唐大霧)	犀のドリンクで復元された角
2. ニロファール・アクムット	だん死 は雄英 いなえ唄
3. 藤浩志	お米のカエル墓石となる
4. ツェレンナドミディン・ツェグミド	キャラバン
5. ツァイ・グオチアン(蔡國強)	「天地悠々」プラン Project for Extraterrestrials No. 11

所蔵作品

3 修復一覧

作者	作品名
1. 作家不詳	文字絵・寿
2. 作家不詳	祖霊祭壇図
3. 作家不詳(ハンチョン版画)	五虎図
4. ニ・ハ	進士と象
5. 作家不詳	如来図
6. 作家不詳	韋駄天図
7. 作家不詳	持国天図
8. 作家不詳	文官栄帰図
9. キム・サンホ	金剛山オンチョンリの春
10. キム・ボンジュン(金鳳駿)	招魂図
11. イ・ユニョプ(李允燁)	ケクサリの人びと
12. イ・ユニョプ(李允燁)	冬、練炭配達
13. イ・ユニョプ(李允燁)	多国籍飯場
14. イ・ユニョプ(李允燁)	エバーランドで、キムさん
15. イ・ユニョプ(李允燁)	黄泉路
16. イ・ユニョプ(李允燁)	テチュリ婦人会長さん
17. イ・ユニョプ(李允燁)	鶏頭の花畑で(龍山復活図)
18. ジャルハージャブ・ムンフツェツェグ	沈黙シリーズ 1
19. ジャルハージャブ・ムンフツェツェグ	沈黙シリーズ 2

所蔵作品

4 所蔵作品の画像・保管資料の掲載／放映など一覧

*以下、発行が確認されたものに限る。

①

2011.11 四方田犬彦編『アジアの文化は越境する－映画・文学・美術』弦書房

作者	作品名
1. ニルーファル・チャマン	「パキラ、オパキ アグンタ ニビエジャー」(シリーズ3)

②

2012. 5 『新版 南アジアを知る事典』平凡社

作者	作品名
1. スレイヤ・ラーマン	民話「ルバとシャジュ」／壁掛け
2. 作家不詳	ゴロカ(天国)
3. ジャミニ・ロイ	子鹿

③

2012. 5 白鳥正夫『ベトナム絹絵を蘇らせた日本人』三五館

作者	作品名
1. グエン・ファン・チャン	オーアンクァン遊び
2. グエン・ファン・チャン	竹を編む

④

2012. 9 ディクディク・サヤディクムラツ「ムーイ・インディ絵画研究－インドネシア現代絵画における意義と再生－」九州産業大学大学院芸術研究科造形表現専攻 博士芸術学位論文

作者	作品名
1. アグス・ジャヤ	水田の帰り
2. モリ・キンセン(森錦泉／吉五郎)	スンビン山の眺め

⑤

2012.11 「アーティストインタビュー 沈崇道」『美術手帖』美術出版社

作者	作品名
1. ワン・クーピン(王克平)	万々歳

⑥

2012.12 干曉妮「近代中国における商業印刷物〈月份牌〉に関する基礎的研究－日刊新聞『申報』(1872－1949年)を基本資料として」神戸大学大学院人間発達環境学研究所

作者	作品名
1. ジョウ・ムチャオ(周慕橋)	錦隆商事保険会社ポスター
2. 不詳	香港福安海上火災保険会社ポスター
3. ハン・ジイン／ジイン画室(杭樺英／樺英画室)	上海聯海上火災保険会社ポスター
4. ハン・ジイン／ジイン画室(杭樺英／樺英画室)	ローラースケートをする女性
5. フー・ボシアン(胡伯翔)	駐華英美たばこ会社ポスター
6. ジン・メイション(金梅生)	豊作
7. ジン・メイション(金梅生)	ボルゾイ犬を連れた女性
8. ジン・メイション(金梅生)	ローラースケートをする二人の女性

⑦

2013. 2. 4 後小路雅弘「描かれた死ーアジアの美術」『九州大学文学部人文学入門 生と死の探究』九州大学出版会

作者	作品名
1. アイシャ・ハーリド	ビーナスの誕生
2. 不詳	生命の樹
3. ウォン・ホイチョン	粛清
4. チャーチャーイ・ブイピア	花よ、人は死んだらどこへ行くのか
5. リュウ・ウェイ(劉煒)	ベッドの毛
6. ユン・ソクナム(尹錫男)	旅譜

⑧

2013. 3 編集工学研究所編「NARASIA Q vol.3」奈良県

作者	作品名
1. アマンダ・ヘン	もうひとりの女 No.2

⑨

2013. 3.10 岸清香「90年代アジア美術にみる〈大東亜戦争〉の記憶」、都留文科大学比較文化学科編「せめぎあう記憶 歴史の再構築をめぐる比較文化論」柏書房

作者	作品名
1. ウォン・ホイチョン	粛清(絵画)
2. ウォン・ホイチョン	粛清(ビデオ)
3. チョー・ドキョン(曹徳鉉)	箱
4. 柳幸典	大東亜仮想通貨千羽鶴

⑩

2013. 3.20 吉澤誠一郎編『歴史からみる中国』放送大学教育振興会

作者	作品名
1. 不詳	広東の商館
2. ウィリアム・サンダーズ	上海バンド
3. ハン・ジイン、ジイン画室(杭禪英、禪英画室)	アンカービールのパスター

⑪

2013. 3.30 古沢ゆりあ「フィリピン近代美術におけるキュビズムと歴史画ーマナンサラ作『最初の十字架がたてられる』をめぐってー」『九州藝術学会誌 デアルテ』第29号、九州藝術学会

作者	作品名
1. ヴィセンテ・マナンサラ	ファン・ルナの「血の同盟」

入館者数

年度別入館者数

年度別	開館日数	常設展	特別企画展	貸館展覧会等	合計	1日平均
10年度	22		22,250		22,250	1,011
11年度	242	38,530	149,395	70,336	258,261	1,067
12年度	309	66,421	118,677	106,529	291,627	944
13年度	302	29,632	15,330	186,987	231,949	768
14年度	301	45,472	71,375	40,452	157,299	523
15年度	307	56,623	167,353	64,827	288,803	941
16年度	305	39,828	37,815	81,015	158,658	520
17年度	294	42,679	107,203	90,714	240,596	818
18年度	307	53,872	69,007	96,847	219,726	716
19年度	309	45,501	81,972	88,543	216,016	699
20年度	307	50,719	67,797	142,131	260,647	849
21年度	286	35,740	111,635	77,814	225,189	787
22年度	307	40,820	57,272	83,921	182,013	593
23年度	311	62,267	57,101	150,081	269,449	866
24年度	313	66,876	54,893	188,001	309,770	990
累計	4,222	674,980	1,189,075	1,468,198	3,332,253	789

月別入館者数

月別	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
人数	42,073	72,196	11,050	20,243	48,496	7,229	14,056	30,057	18,185	8,365	7,298	30,522	309,770

あじびホール月別使用状況

月別	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
件数	11	6	19	14	11	23	8	9	11	8	16	12	148
人数	1,007	301	1,224	1,490	765	3,907	597	789	914	650	1,733	692	14,069

あじびホール年度別使用状況

年度	別件数	人数
10年度	21	1,730
11年度	110	8,480
12年度	106	9,682
13年度	58	8,834
14年度	50	5,849
15年度	70	7,353
16年度	87	8,681
17年度	89	7,336
18年度	109	11,609
19年度	113	11,487
20年度	145	13,360
21年度	102	8,227
22年度	119	10,198
23年度	119	12,750
24年度	148	14,069
累計	1,446	139,645

あじびホール使用状況内訳

催物別	件数	人数
講演会	9	850
セミナー	9	423
アーティストトーク	8	755
ワークショップ	6	367
映画	48	6,279
演劇	14	1,368
音楽	6	576
落語	1	35
漫才	5	445
展示	17	806
ボランティア	9	599
その他	16	1,566
合計	148	14,069

常設展・特別企画展

展覧会名	開催期間	日数	計	1日平均	有料観覧者数				無料観覧者数	
					一般	高・大	小・中	計		
常設展		313	66,876	214	5,973	837	0	6,810	60,066	
特別企画展	おいでよ！絵本ミュージアム2012	7月25日－8月21日	28	44,377	1,585	14,276	567	4,897	19,740	24,637
	アジアをつなぐー境界を生きる女たち1984-2012	9月1日－10月21日	44	5,856	133	1,872	433	0	2,305	3,551
	溪山清遠-中国現代アート・伝統からの再出発	1月2日－2月24日	47	4,660	99	2,600	239	0	2,839	1,821
合計		119	54,893		18,748	1,239	4,897	24,884	30,009	

貸館展覧会等 7階企画ギャラリー

展覧会名	開催期間	日数	観覧者数	内容等
花と光のフェスティバル 「押花で描く雅の世界」作品展 「ガラスアート・ネイチャープリント・レカンフラワー」作品展	4月 1日～ 4月 3日	3	701	押花、ガラスアート、レカンフラワー、ネイチャープリント、それぞれの会員による作品展示。
川原秀人油彩展	4月 1日～ 4月 3日	3	344	油彩やアクリル絵の具を材料とした作品展。
宮崎順子の暮らしを彩るパッチワークキルト展	4月 5日～ 4月10日	6	1,955	福岡市の文化センター等での、パッチワークキルト教室の生徒及び指導者の作品をパッチワークキルト、プティ、ピケの三つに分けて展示。作品数は約120点。
ドラえもん科学みらい展	4月14日～ 5月27日	39	80,919	「ドラえもん」に登場する様々な秘密道具をテーマとして、現在の科学技術をあらゆる世代が楽しめる、体験型展示を中心に構成された展覧会。
イメージラボ写真教室 第13回作品展	5月31日～ 6月 5日	6	1,116	写真教室の作品展を毎年開催する中で、今回は生徒作品を中心に約200点の作品を展示。
小林善弘回顧展	6月 7日～ 6月12日	6	422	故小林善弘氏の作品を西南大学の同窓会等が後援し、油絵、水彩画、パステル、絵総数100点程度を展示。
K-ADCアワード2012	6月14日～ 6月19日	6	2,280	九州を活動拠点とするプロフェッショナルのクリエイターによる年に一度の公開審査会を開催し、入賞作品を展示。
「華麗なる布を纏う」深川芳子コレクション	6月21日～ 6月26日	6	1,336	ジャワ更紗が生まれるジャワの風土や人々の生活、文化を通して多方面からジャワ更紗を紹介し、その布を着る幸せ感を表現する展示会。
絳衣司展(伝統工芸と伝統芸能の彩り)	6月21日～ 6月26日	6	792	古法江戸友禅・京絞り・爪掻本綴の技法によって制作された、きもの・帯・小物等の作品展示。
Atelier Tashiro ExhibitionX 田代国浩となかまたち⑩	6月28日～ 7月 3日	6	705	絵画教室の生徒たちとのグループ展。アクリル絵の具を材料とした絵画約100点とオブジェ等の立体約10点を展示。
第3回それぞれの写真展 吉本 統治・松本 昭和二人展	6月28日～ 7月 3日	6	681	写真と書のコラボレーション等を大型化したデジタル画像作品等の二人写真展。
第40回「日本の書展」九州展	7月 5日～ 7月10日	6	2,065	書道界の最高峰である「現代書壇巨匠」「現代書壇代表」の書家86名に加え、現代書壇の有力作家で構成される「委嘱」「招待」「秀抜選」の作品を一室に展示。
第1回九州国展	7月12日～ 7月17日	6	1,468	絵画部(油絵、アクリル、等)・彫刻部(木彫、ブロンズ等)・工芸部(陶器、織物等)・写真部(銀塩写真、デジタル写真等)・版画部(木版画、銅版画等)の5部門での展覧会。
京都 清水寺成就院奉納襖絵 風の画家 中島潔が描く「生命の無常と輝き」展	10月27日～12月 9日	38	33,742	中島潔の集大成ともいえる京都清水寺成就院の襖絵46面と、代表作、新作など約100点を展示。
第10回 日・中・韓 美術交流展 A-one 一和一	12月13日～12月18日	6	508	かつて福岡で学んだ韓国と中国の留学生と、日本のアーティストによる絵画作品約100点を展示。
2012アジアデジタルアート大賞展	2月28日～ 3月 5日	6	1,002	デジタルアート&デザイン等の作品を募集し、その作品を展示。
九州朝日放送創立60周年記念 仮面ライダーアート展	3月 9日～ 3月31日	20	20,593	歴代の仮面ライダーの紹介や作者の石ノ森正太郎の原稿、複製原画等の展示。
合計		175	150,629	

貸館展覧会等 8階交流ギャラリー

展覧会名	開催期間	日数	観覧者数	内容等
「AnotherWorld/別世界」福田竜也写真展+ BPPウエディングフォトコレクション	4月 1日～ 4月 3日	3	365	主に風景や花などを独自の視点で捉え、ユニークな世界観を持った写真展。
宮内 裕賢 イカ展	4月 5日～ 4月10日	6	503	海のイカがテーマの油絵、多くの人にイカの魅力を知ってもらいたいと、制作に没頭する日々を送る宮内裕賢のイカの絵画を展示。
第4回福岡読売写真クラブ写真展	4月12日～ 4月17日	6	761	自然、風景、ストップポートレート、暮らしの光景等、自然&環境をストレートに表現する作品約85点を展示。
藍と絞り シボリコミュニティ福岡第12回作品展	4月19日～ 4月24日	6	434	会員のタペストリー22点を展示。
ICCデジタルカメラクラブ 第2回作品展	4月26日～ 5月 1日	6	655	デジタル一眼レフ教室の生徒約50名による、写真展。
Atelier light students Graphics2012	5月 3日～ 5月 8日	6	619	絵画教室の生徒作品約250点と指導者作品50点の絵画作品を展示。
変貌する朴伝の世界展	5月10日～ 5月15日	6	1,218	書の抽象作品を数点展示すると共に、毎日、作品を制作。無から具象そして抽象へと移行し、最終日に会場全体をアート化した。
福岡江古田会アート展	5月17日～ 5月22日	6	550	福岡県内在住の日本大学芸術学部卒業生で組織する、福岡江古田会の美術展で、写真、絵画、陶芸、デザイン等、約150点を展示。
松田美末子アート表装遊心会作品展	5月24日～ 5月29日	6	1,370	着物や帯などの古布を使って、デザインした屏風、掛け軸、額装など、約100点を展示。
魚蓮坊窯と陶芸教室作品展	5月31日～ 6月 5日	6	666	魚蓮坊窯と陶芸教室生徒作品との合同作品展。
Contemporary Art 2012 ASIAN -アート・ジャングル-	6月 7日～ 6月19日	12	826	8名の作者によるインスタレーション作品群を床面と宙に、平面作品を全壁面に展開。
花を装う	6月21日～ 6月26日	6	1,108	フラワーペインティング、チャイナペインティング、手彫りガラス工芸等、約400点を展示。
樹王 一屋久島一	6月28日～ 7月 3日	6	532	屋久島の巨樹を中心に、原風景及び動植物の写真を展示。

展覧会名	開催期間	日数	観覧者数	内容等
第40回「日本の書展」九州展	7月 5日～ 7月10日	6	1,137	書道界の最高峰である「現代書壇巨匠」「現代書壇代表」の書家86名に加え、現代書壇の有力作家で構成される「委嘱」「招待」「秀抜選」の作品を一堂に展示。
第10回 日中友好児童絵画展 ～日中国交正常化40周年記念事業～	7月12日～ 7月17日	6	1,253	平和友好文化を、世界に向けて積極的に発信することを目的とする事業の一端として中国上海市及び福岡県の幼稚園・保育園・小学校の園児、児童による絵画展。
第12回 アーティスト・イン・レジデンスの成果展 パート1	7月21日～ 8月 6日	17	1,409	福岡アジア美術館が招聘した美術作家ブディ・アグン・クスワラ(インドネシア)とチェン・チンヤオ(台湾)が福岡の人たちと交流しながら制作した作品を展示した成果展。
児童絵画展「わたしと先生」	8月 9日～ 8月14日	6	1,097	福岡県下の小学校2年生を対象に募集した絵画の入賞作品を展示。
フクオカ・フォトフェスティバル2012・ 釜山交流写真展	8月16日～ 8月21日	6	1,323	写真情報誌「PHOTO GUIDE」が中心となり、釜山の写真家との交流や写真に親しみ、楽しむことを目的とした写真展。
龍展	8月23日～ 8月28日	6	625	中国作者の個人絵画展。
在日著名画家、陶磁芸術家、寒 梅人新作展	8月30日～ 9月 4日	6	393	中国景德鎮で制作した、伝統陶磁及び中国伝統絵画の新作を展示。
蔚山大学校デザイン大学 視覚デザイン学科卒業作品展	9月13日～ 9月18日	6	341	韓国学生のビジュアルデザインの卒業作品を展示。
Nipponia nippon (ニッポニアニッポン)	9月20日～ 9月25日	6	884	福岡在住及び出身作家による、水墨画、書、写真、絵画、ペン画、和紙ちぎり絵、ワイヤークラフト(立体)、木工(立体)等の作品展示。
私の大好きなパターンで作るパッチワークキルト展	9月27日～10月 2日	6	867	パッチワーク教室生徒による作品展。タペストリー(ベッドカバーサイズ)30点、クッション、バッグ、ポーチ等パッチワーク等50点を展示
書のとときめき展 12 …一墨会創立20周年記念…	10月 4日～10月9日	6	838	中国古代文字である、甲骨文、金文を主なモチーフとした現代書の創作作品展。約20名による約60点を展示
第11回 現美墨象展	10月11日～10月16日	6	694	書を構成している要素(形、線質、リズム、墨色、余白など)を取り出し、再構築する書の抽象作品展。
写楽会水彩画展	10月18日～10月23日	6	1,473	四季折々の生花や旬の野菜、日常生活の一コマなど心の想いのままに表現した、水彩画・パステル画・絵手紙などの作品展。
平成24年景柳会書作展	10月25日～10月30日	6	1,201	毛筆、ペンアート、硬筆、水墨画100点を展示。
日中国交正常化40周年記念 第2回九州華僑華人文学芸術家連合会芸術展	11月 1日～11月 6日	6	505	九州在住の華僑華人アーティストによる絵画・書・工芸作品約80～100点を展示。
日本風景写真協会 創立10周年記念選抜展	11月 8日～11月13日	6	885	全国が委員1,500名で構成された写真協会の創立10周年を記念し、名誉会員作品11点及び一般会員作品100点の写真展示。
第12回 アーティスト・イン・レジデンスの成果展 パート2	11月17日～12月 3日	15	1,599	福岡アジア美術館が招聘した美術作家アズリザ・ビンティ・アヨボ(マレーシア)とランポー・カンサノウ(タイ)が福岡の人たちと交流しながら制作した作品を展示した成果展。
第24回MOA美術館福岡児童作品展	12月 6日～12月11日	6	2,280	福岡市とその近郊の小中学生を対象とする、児童絵画の入賞作品約400点を展示。
第50回オール福岡大学写真展	12月13日～12月18日	6	614	大学生・OB・OG・職員等による、写真展。同時展示に炭鉱画家、山本作兵衛作品も展示。
福岡市人権尊重作品展	12月20日～ 1月 8日	13	521	人権尊重に関するポスター(絵画)、標語、絵手紙の入選作品の展示。ポスター約50点 標語約80点 絵手紙約15点。
第18回福岡県幼児画展	1月12日～ 1月14日	3	2,150	福岡県内の幼稚園、保育所から応募された作品の入賞・入選作品の展示。
第11回福岡市立高等学校合同文化発表会	1月17日～ 1月22日	6	448	福岡市立高等学校四校(福翔・博多工業・福岡女子・福岡西陵)の生徒が制作した作品を展示・発表。
九州産業大学芸術学部写真映像学科 百瀬ゼミナール写真展「M」	1月24日～ 1月29日	6	425	ゼミナールのメンバー一人ひとりがテーマを決めて撮影した風景写真や人物写真などを展示。
平成24年度博多区文化・芸術展	1月31日～ 2月 5日	6	483	博多区で日本画、洋画、写真、書を一般公募し、集まった作品の展示会。
福岡デザイン専門学校 第15回卒業制作展・アジアデザイン交流展	2月 7日～ 2月12日	6	573	グラフィックデザイン、エディトリアルデザイン、Webデザイン、パッケージデザイン、イラストレーション、CG、動画、インテリアコーディネーター、建築、ショップデザイン、ディスプレイデザイン、家具、プロダクト、雑貨など卒業制作品及び交流作品展。
九大生AQAプロジェクトによる現代美術展 わたしの街の知らないところーシンガポールと日本	2月14日～ 2月26日	12	1,030	九州大学で美学美術史を学ぶ学生たちが、福岡の若手作家・アジアの実力派作家の作品を選出し、テーマに沿った展示を実施。
麻生情報ビジネス専門学校(福岡校) 卒業・進級制作展2013	2月28日～ 3月 5日	6	353	CGアート作品、コンテスト応募作品(広告、ポスター等)、映像作品、MacやiPadを活用したインタラクティブ作品を展示。
福岡教育大学大学院教育学研究科 美術教育コース修了制作展	3月 7日～ 3月12日	6	450	日本画、書、油彩、篆刻金属工芸、絵本、紙による立体造形などの修了制作展。
日本風景写真協会福岡第一支部第11回写真展	3月14日～ 3月20日	7	970	「四季瞬景」をテーマに75点程度の風景写真を展示。
九州産業大学芸術学部デザイン学科 ビジュアルアートクラス卒業制作有志展	3月22日～ 3月24日	3	202	デザイン学科ビジュアルアートコースノ学生が大学四年間で制作してきた作品及び卒業制作した作品を展示。
第20回蒼龍会書作展	3月28日～ 3月31日	4	742	半紙1/2以下、半紙、色紙、扇面等の漢字・仮名・ペンの作品展。山岸会長所蔵の近現代書家の肉筆も展示。
合計		293	37,372	

活動記録

2012年

- 5月12日 「福岡ミュージアムウィーク2012」開催(5月20日まで)
- 5月16日 招聘美術作家ブディ・アグン・クスワラ氏来館
(7月24日まで滞在)
- 5月19日 招聘美術作家チェン・チンヤオ氏来館
(7月24日まで滞在)
- 7月25日 「おいでよ！絵本ミュージアム2012」開会式
- 9月 1日 「アジアをつなぐー境界を生きる女たち 1984-2012」
展開会式
- 9月15日 招聘美術作家ランブー・カンサノウ氏、アズリザ・ビン
ティ・アヨボ氏来館(11月20日まで滞在)
- 10月19日 美術資料収集審査会
- 12月10日 平成25年度美術交流事業招聘者選考会

2013年

- 1月26日 「溪山清遠ー中国現代アート・伝統からの再出発」展
キュレータ&アーティストトーク
- 1月31日 研究者シムゲ・サムドゥルップ氏来館
(3月15日まで滞在)
- 2月 1日 研究者アンタリクサ氏来館
(3月14日まで滞在)
- 2月 7日 「とびだせ！アジア美術館」(九州大学病院)
- 3月 5日 「とびだせ！アジア美術館」(西長住小学校)
(3月8日まで)
- 3月13日 「とびだせ！アジア美術館」(東福岡特別支援学校)
(3月18日まで)



概 要

1 基本理念

アジア美術の独自の創造を目指す一助とするため、
アジア近現代美術を通して人々が集い、
互いに理解し、創造、発信するアジア美術の交流の場とする。
また、世界的に有数の質の高いアジア近現代美術作品の集積を生かし、
展示、収集のみならず、日常的なアジアとの交流、
調査研究活動を積極的に展開するとともに、
アジアの芸術家や研究者等と日本の芸術家、研究者、
市民が互いに創り、学びあうことにより、
新たな創造と相互理解を促す機会を提供する。

2 活動内容

1 交流事業

アジアの美術作家、研究者・学芸員を当館に一定期間招聘し、市民とともに公開制作を行ったり、研究成果を発表したり、また、地域や学校などに出向いてワークショップを実施するなど、様々な交流事業を推進することにより、市民のアジア美術に対する理解、関心を深め、地域文化の質的向上に努めるとともに、アジアの芸術文化の発展に貢献することをめざす。

(1)アジアの美術作家との交流事業

市民共同創作事業、ワークショップ、滞在制作展を実施し、市民との交流を図る。

(2)アジアの研究者との交流事業

アジア現代美術に関するフォーラムやワークショップ等の教育プログラムを通して市民との交流を図る。

(3)地域交流事業

市民が気軽に参加しアジア文化を身近に感じることができるイベントを開催する。

2 展示事業

(1)コレクション展示(アジアギャラリー)

ジャンル別、テーマ別に紹介

(2)企画展示(アジアギャラリーほか)

4つのシリーズ展「近代美術」「現代アジアの作家」「生活とアート」「アート横断」として紹介する。

(3)特別企画展(企画ギャラリー他)

①最新のアジア現代美術を紹介する「福岡アジア美術トリエンナーレ」展を3年毎に開催する。

②アジアを中心とする幅広い時代や分野の特別企画展を開催する。

3 収集事業

(1)収集方針

アジアの独自性を示す優れた作品を、近現代を中心に収集する。

(2)収集対象・範囲

原則として、19世紀から現代までの近現代美術を中心とし、パキスタン以東、モンゴル以南、インドネシア以北以西の作品を収集する。

4 教育普及事業

(1)あじびホール等での講演会、ワークショップ等の開催

(2)美術情報コーナーや図書閲覧室での資料・情報提供

(3)アジア美術館の出版物等の制作

A. あじびニュース(年4回)

B. 交流事業記録集(年1回 ホームページで公開)

5 ミュージアム施策事業

ミュージアムウィーク事業

博物館・美術館の役割を広く知ってもらうために制定された「国際博物館の日」(5月18日)を記念して、平成21年度から実施している福岡ミュージアムウィークを拡充して行う。

6 調査・研究

1～5の事業の実施のためのアジア近現代美術の調査・研究

3 施設概要

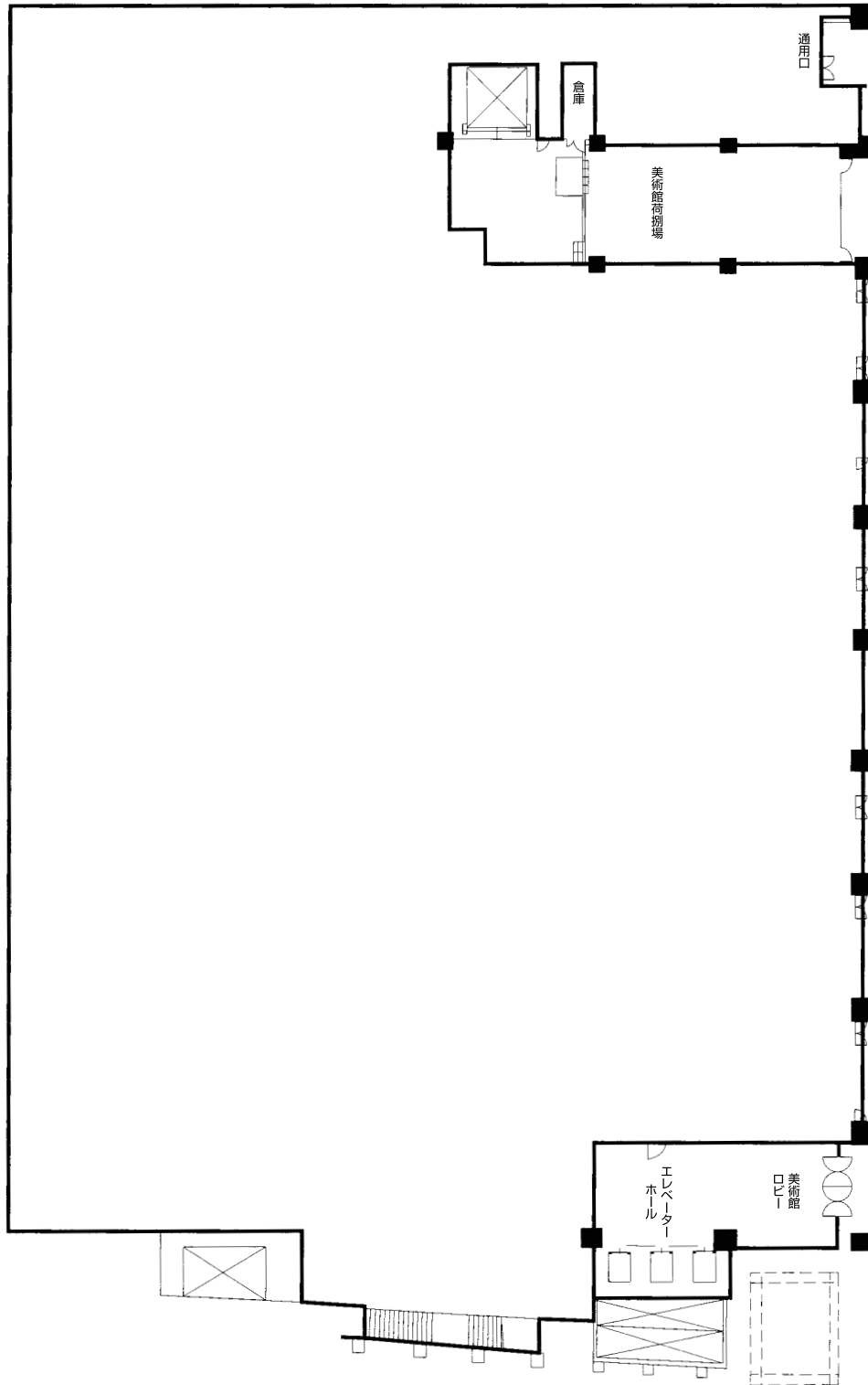
設置者	福岡市長
設立年月日	平成11年(1999)3月6日
名称	福岡アジア美術館
所在	福岡市博多区下川端町3番1号(博多リバレイン)
面積	建物面積151,595.91のうち区分所有 専有面積9,101.05㎡
構造	鉄骨鉄筋コンクリート造 地下4階地上13階のうち 1階及び7階、8階
設計者	日建設計・観光企画設計社・都市未来ふくおか・西日本 技術開発・設計共同企業体
取得額	保留床取得価額12,552,002千円

【各室面積表一覧】 (単位:㎡)

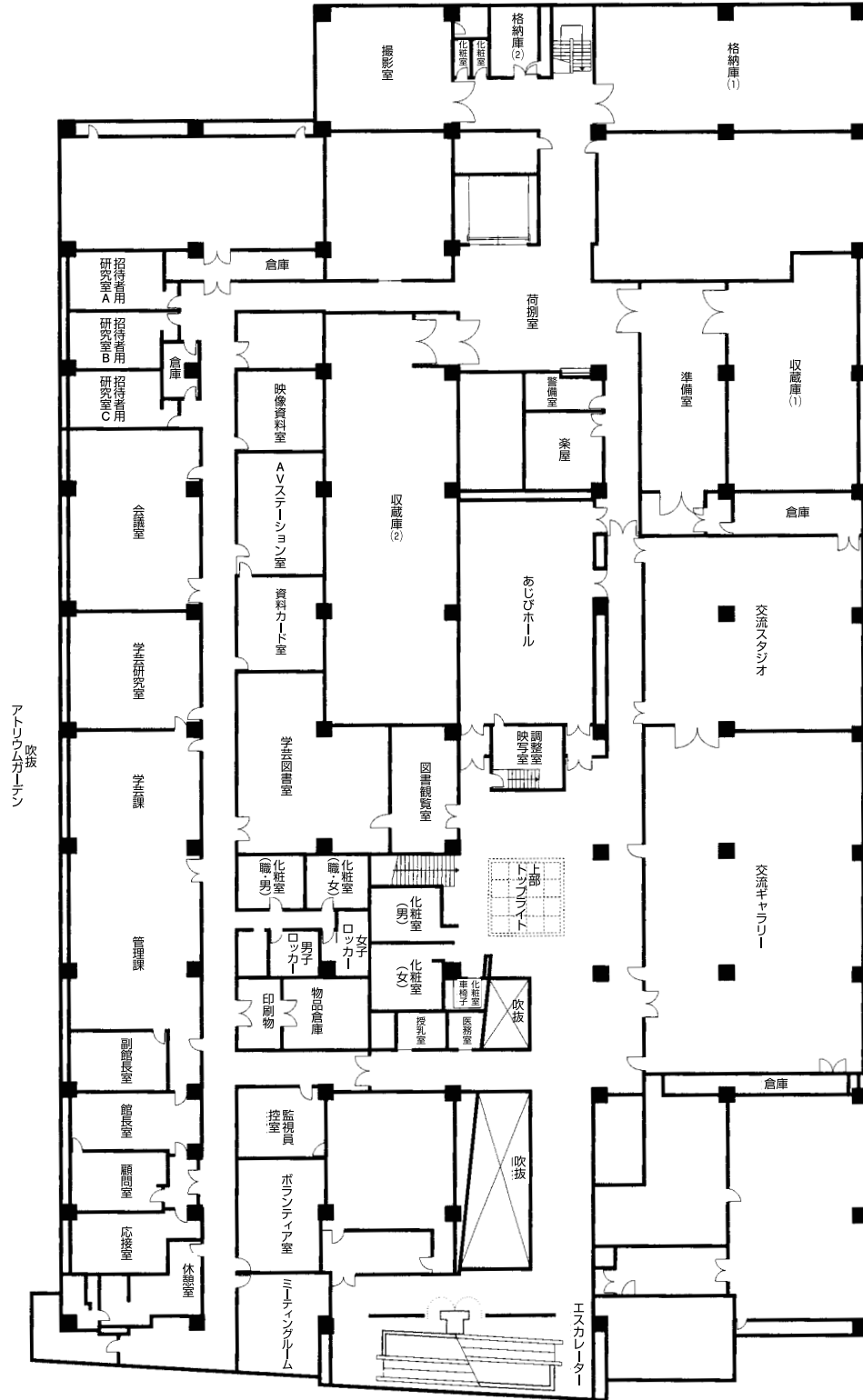
地下1階	61.69
1,2,3号EVビット	31.19
13号EVビット	30.50
1階	398.34
1,2,3号EV	47.47
13号EV	36.60
美術館ロビー	52.01
EVホール	50.97
美術館荷捌場	66.53
倉庫	11.24
搬入車路	133.52
7階	4,233.33
企画ギャラリー	1,004.58
物入(1)	8.77
控室	23.01
ロビー(2)	61.69
機械室(3)	131.18
チャンパー(機3)	28.43
EVホール	47.36
階段	19.43
荷捌室	110.95
通路	335.79
便所前室	12.05
便所(客・男)	22.40
便所(客・女)	31.84
便所(客・車)	5.84
ロビー(2)	214.10
展示機材庫	56.55
チャンパー	23.38
裏通路	37.40
M7F機械室	59.40
機械室(2)	92.33
アジアギャラリー	1,110.56
ミュージアムショップ	77.60
商品倉庫	20.38
美術情報コーナー	125.52
彫刻ラウンジ	516.24
コーヒースタンド	14.39
中8階ホール	42.16
8階	4,407.69
1,2,3号EV機械室	56.11
格納庫(1)	171.00
収蔵庫(1)	152.02
準備室	87.60
交流スタジオ	223.30

8階	暗室(1)	9.90
	倉庫(1)	23.70
	交流ギャラリー	369.54
	倉庫	19.11
	機械室(1)	128.96
	前室(機1)	26.13
	階段	14.82
	格納庫(2)	17.94
	撮影室	87.30
	暗室(2)	6.50
	便所(男・女)	7.02
	荷捌室	167.84
	警備室	14.85
	倉庫(2)	30.80
	あじびホール	159.53
	前室(あじび)	7.35
	前室(あじび)	5.39
	調整映写室	23.50
	ロビー	360.43
	収蔵庫(2)	252.27
	前室(収蔵2)	11.10
	機械室(4)	25.32
	映像資料室	35.20
	AVステーション室	52.49
	資料カード室	40.45
	学芸図書室	119.84
	図書閲覧室	44.14
	階段室	13.42
	便所(客・男)	18.44
	便所(客・女)	23.74
	便所(客・車)	6.77
	医務室	6.73
	授乳室	14.74
	便所(職・男)	17.54
	便所(職・女)	16.41
	女子ロッカー	14.24
	男子ロッカー	11.44
	給湯室	6.85
	物品倉庫	32.00
	印刷室	13.87
	監視員控室	30.88
	ボランティア室	45.95
	ミーティングルーム	41.02
	機械室(2)	22.87
	機械室(3)	144.90
	チャンパー(機3)	20.21
	倉庫(3)	22.20
	招待者用研究室(1)	32.76
	招待者用研究室(2)	32.79
	招待者用研究室(3)	32.79
	倉庫(4)	9.88
	会議室	122.63
	学芸研究室	81.75
	学芸・管理課	245.27
	館長室	41.48
	前室(館長)	8.53
	顧問室	30.33
	応接室	35.92
	休憩室	21.59
	脱衣室	7.70
	シャワー室	2.00
	通路	135.81
	廊下	290.79
合計		9,101.05

1F



8F



4 沿革

平成 4年(1992) 6月	市長がアジア近代美術館の建設意向を表明
平成 5年(1993) 7月	アジア美術館整備構想委員会の設置、開催(答申までに2回開催)
平成 7年(1995) 2月	アジア美術館整備構想委員会の答申 市長が下川端市街地再開発ビルでの設置を表明
平成 7年(1995) 3月	第1回アジア美術館建設専門委員会開催(開館までに7回開催)
平成 7年(1995) 4月	平成7年度当初予算に調査費を計上、福岡市美術館内に建設担当課の設置(1課2係4人)
平成 7年(1995) 11月	基本方針決定
平成 7年(1995) 12月	下川端地区市街地再開発組合と保留床売買に関する覚書を締結
平成 7年(1995) 12月	美術館用建物取得。一般会計補正予算、福岡市議会で原案可決
平成 8年(1996) 1月	下川端地区市街地再開発ビル起工
平成 8年(1996) 2月	第1回アジア美術館市民懇談会開催(開館までに5回開催)
平成 8年(1996) 3月	下川端地区市街地再開発組合と保留床売買契約書を締結
平成 8年(1996) 4月	建設担当課の増員(1課2係5人、参与及び担当部長の兼務発令)
平成 8年(1996) 8月	第1回アジア美術館資料収集審査会開催(開館までに4回開催)
平成 9年(1997) 3月	土地共有持分移転登記
平成 9年(1997) 4月	建設担当課の設置(2課3係8人)
平成 9年(1997) 7月	開館記念展「第1回福岡トリエンナーレ」(正式名称:第1回福岡アジア美術 トリエンナーレ1999[第5回アジア美術展])実行委員会設立総会
平成10年(1998) 2月	正式館名を公募。「福岡アジア美術館」に決定 (応募件数4,079点[2,775人])
平成10年(1998) 2月	開館記念展の国際協力者会議開催
平成10年(1998) 9月	福岡アジア美術館条例制定
平成10年(1998) 10月	建設工事完了 竣工検査
平成10年(1998) 12月	建築物引渡し
平成11年(1999) 1月	福岡アジア美術館へ組織変更 (館長以下2課3係12人[嘱託5人]体制)、美術館へ事務所移転
平成11年(1999) 2月	建築物登記
平成11年(1999) 3月 1日	博多リバレイン竣工式
平成11年(1999) 3月 3日	福岡アジア美術館開館記念式典
平成11年(1999) 3月 6日 ~6月 6日	福岡アジア美術館開館、博多リバレイン開業 開館記念展「第1回福岡アジア美術トリエンナーレ」開催
平成11年(1999) 5月	収蔵品を福岡市美術館から移転
平成11年(1999) 6月	収蔵品展示の開始
平成14年(2002) 3月21日	「第2回福岡アジア美術トリエンナーレ」開催(6月23日まで)
平成15年(2003) 5月27日	観覧者100万人達成
平成17年(2005) 9月17日	「第3回福岡アジア美術トリエンナーレ」開催(11月27日まで)
平成18年(2006) 3月20日	第3回アサヒビール文化芸術財団芸術賞受賞
平成19年(2007) 9月 6日	観覧者200万人達成
平成21年(2009) 9月 5日	「第4回福岡アジア美術トリエンナーレ」開催(11月23日まで)
平成22年(2010) 1月19日	平成21年度地域創造大賞(総務大臣賞)受賞
平成23年(2011) 1月24日	観覧者300万人達成

福岡アジア美術館美術資料収集審査会委員

水 沢 勉	神奈川県立近代美術館長
後 小 路 雅 弘	九州大学大学院人文科学研究院教授
後 藤 新 治	西南学院大学教授
ソボン・ロドボン	チェンマイ大学美術学部准教授(タイ)

福岡市美術館協議会委員(福岡アジア美術館を含む。)

会 長	松 尾 孝 司	西日本新聞社編集局報道センター都市圏総局記者
副 会 長	龍 秀 美	秀巧社印刷株式会社クリエイティブディレクター
委 員	石 川 正 知	財団法人福岡文化財団専務理事事務局長
//	植 野 か お り	立花家史料館史料室長
//	後 小 路 雅 弘	九州大学大学院人文科学研究院教授
//	梅 崎 薫	福岡市立花畑中学校校長
//	大 石 京 子	福岡市立東住吉小学校校長
//	京 谷 啓 徳	九州大学大学院人文科学研究院准教授
//	後 藤 新 治	西南学院大学国際文化学部教授
//	辻 芳 子	福岡市社会教育委員
//	原 田 真 紀	ママとこどものアートじかんプロジェクト実行委員長
//	藤 本 昌 代	社団法人福岡市老人クラブ連合会理事
//	古 野 靖 弘	社団法人福岡県美術協会監事
//	松 田 瑞 恵	福岡市PTA協議会副会長
//	室 岡 祐 司	株式会社JTB九州地域活性化事業推進室主任研究員
//	山 田 彰	前福岡市美術展運営委員
//	米 丸 政 文	福岡市立福岡西陵高等学校校長
//	渡 邊 敬 一	福岡市青少年団体連絡会議理事

福岡アジア美術館美術交流事業招聘者選考会

藤 原 惠 洋	九州大学大学院芸術工学研究員教授
釜 堀 文 孝	九州産業大学芸術学部長
大 石 京 子	福岡市図画工作科研究委員会委員長、福岡市立東住吉小学校校長
松 尾 孝 司	西日本新聞社編集局報道センター都市圏総局記者
宮 本 初 音	ART BASE 88代表 インディペンデント・キュレーター

福岡アジア美術館職員

館長	藤原	繁雄
顧問	安永	幸一
副館長	中嶋	恒生
事業管理部長	吉村	隆一
管理課長	松澤	稔 (平成24年7月まで)
管理課長	若山	信久 (平成24年9月から)
管理係長	小林	正和
事務職員	川野	寛
事務職員	星加	沙織
事務職員	井上	拓也
嘱託員	倉光	東昭
嘱託員	本田	夕カ子
学芸課長	黒田	雷児
収集展示係長	ラワン	チャイクン寿子
学芸員	五十嵐	理奈
学芸員	中尾	智路
交流係長	松浦	仁
学芸員	金子	裕子
嘱託員	古川	勝敏
嘱託員	蒲池	昌江
嘱託員	大野	和則
嘱託員	堀川	理沙 (平成24年9月まで)
嘱託員	柏尾	沙織 (平成24年10月から)

発行 2013年9月30日
福岡アジア美術館
福岡市博多区下川端町3-1 リバレインセンタービル7・8階
<http://faam.city.fukuoka.lg.jp>
デザイン 城島印刷株式会社
印刷 福岡アジア美術館
著作権 2013年(禁無断転載)



この紙は地球環境保護のため、
再生紙を使用しています。

